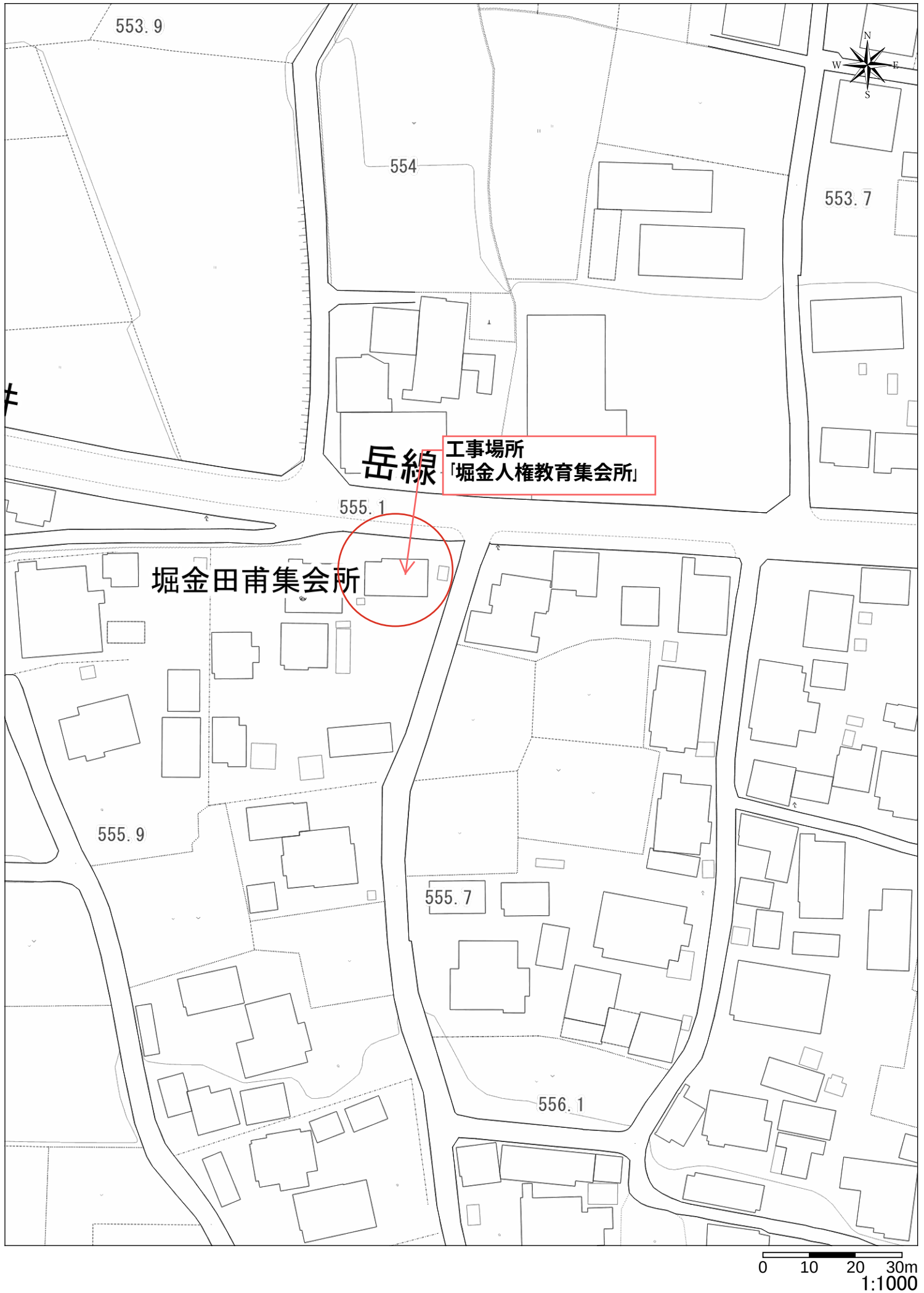


工 事 名	令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事														金抜き設計書	
施 工 箇 所	安曇野市 穂高・堀金人権教育集会所															
設 計 概 要								施 工 方 法				請 負				
穂高・堀金人権教育集会所の解体工事 ・穂高・堀金人権教育集会所の解体 ・物置、植栽の撤去（2現場共通） ・解体撤去後、敷地内の整地（2現場共通）								施 工 期 間				日間				
								契約年月日				令和 年 月 日				
								竣工予定年月日				令和9年 1月 15日				
								契約保証方法				金銭的保証				
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。								

位置図
令和 8 年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事



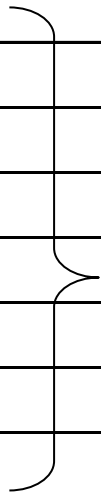
位置図



工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
内 訳 書						
A 共通仮設費	穂高+堀金	式	1			
B 直接工事費	穂高+堀金	式	1			
(純工事費)計	穂高+堀金					
現場管理費		式	1			
一般管理費等		式	1			
計						
工事価額計						
消費税相当額		式	1			
設計工事費合計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A-1 共通仮設費(率)						
準 備 費						
工 事 施 設 費						
環 境 安 全 費						
動力用水光熱費		式	1			
整理清掃費						
機 械 器 具 費						
そ の 他						
A-1 小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A-2 共通仮設費(積上げ)						
A-2-1(穂高人権集会所)						
交通誘導員		人	10			
出入口アコーディオン門扉	W=6.0, H=12程度 在置3か月	個所	1			
仮囲い	バリケード H1.80程度 約3か月	m	17.0			
重機運搬費	バックホー, 鉄骨カッター, アタッチメント	回	4.0			
出入口側溝養生費	鉄板敷t=22 W=1.2m在置2か月	m ²	9.8			
	運搬費, 設置手間共					
小々計						
A-2-2(堀金人権教育集会所)						
交通誘導員		人	20			
仮囲い	バリケード H1.80程度 約2か月	m	27			
重機運搬費	バックホー	回	2.0			
出入口歩道等養生費	鉄板敷t=22 W=6.0m 1か月程度設置手 間, 運搬費共	m ²	15.6			
出入口アコーディオン扉	W6.0m・H1.2程度	ヶ所	1.0			
小々計						
A-2 小 計						
A-計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B 直接工事費						
B-1 穂高人権教育集会所解体工事		式	1.0			
B-2 堀金人権教育集会所解体工事		式	1.0			
B-計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-1 穂高人権集会所解体工事						
1.直接仮設工事		式	1			
2.既存建物解体工事		式	1			
3.電気設備撤去工事		式	1			
4.機械設備撤去工事		式	1			
5.外構撤去・盛土整地		式	1			
6.運搬・処分費		式	1			
計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1・直接仮設工事						
外部足場	クサビ緊結式 手摺共 W600	m ²	376			
外部シート張養生	防炎シート, 防音シート	m ²	376			
内部足場	脚立程度	m ²	162			
計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2・建物解体工事						
2-1 外部撤去工事						
コーキング撤去	サッシ周囲, 基礎, 破風	アスベスト m	364.0			
サッシ周囲モルタル研り		アスベスト m	244.0			
アルミサッシ撤去		ヶ所	27.0			
窓手摺撤去	L=2000程度	ヶ所	6.0			
ベランダ手摺撤去	スチール H1200 基礎共	m	18.4			
シート防水撤去	ゴム系 t=2	m ²	90.8			
2-1 小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2-2 内部撤去・解体工事						
内部造作解体		m ²	324.3			
長尺塩ビシート撤去	t=2 アスベスト含有	m ²	177.0			
建物上屋解体	S造2階 手こわし・機械併用	m ²	324.3			
建物土間解体		m ³	32.0			
建物基礎解体		m ³	11.6			
2-2 小 計						
2 合 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3・電気設備撤去工事						
3-1.照明器具撤去工事						
富士型 40x1	FSS4-401相当	台	5			
富士型 40x2	FSS4-402相当	台	22			
富士型 20x1	FSS4-201相当	台	6			
トラフ型 20x1	FL20x1	台	1			
コンフォート型	FL40x2 和風	台	8			
ペンダント(CL)	FCL30x1	台	1			
ブラケット	IL60	台	1			
ウォールライト 20x1	FBC1RP-201相当	台	5			
棚下灯	FL20x1	台	2			
ペンダント(CL)	FCL20x1 FCL30x1 和風J	台	1			
スクエア型 □650	FL20x4相当	台	3			
ダウンライト 150 φ	FDL13x1	台	6			
ブラケット	FL20x1	台	1			
階段灯	FCL 30x1 BT付	台	2			
誘導灯(中型 片面)	FL20x1	台	3			
非常灯	埋込 9W	台	9			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
引込線撤去						
電力会社申請手続き費		式	1			
3-1 小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3-2.発生材処分費						
産業廃棄物		kg	235.9			
電球	60W相当分	個	10			
蛍光管(直管)	20W相当分	本	24			
蛍光管(直管)	40W相当分	本	69			
蛍光管(環状管)	10～40W相当分	本	5			
蛍光管(コンパクト型)	FDL13W	本	6			
運搬費		回	1			
3-2 小 計						
3 合 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4・機械設備撤去工事						
a 屋内設備撤去工事		式	1.0			
b 屋外設備撤去工事		式	1.0			
c 産業廃棄物処理	積み込み、収集運搬共	式	1.0			
計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a 屋内設備撤去工事						
a-1 衛生器具設備撤去						
和風大便器撤去	隅付ロータンク式・紙巻器・他付属品共	組	2.0			
洋風便器撤去	隅付ロータンク式・紙巻器・他付属品共	組	2.0			
床置ストール小便器撤去	フラッシュ弁式・他付属品共	組	3.0			
バック付掃除流し撤去	Sトラップ・単水栓・付属品共	組	1.0			
壁掛手洗器撤去	単水栓・L止水栓・Pトラップ・他付属品共	組	3.0			
仕切り板撤去	陶器製	個	4.0			
化粧鏡撤去	350×450	枚	3.0			
調理実習台撤去	2,100×900×800	台	3.0			
ガステーブル撤去	2口形ガステーブル	台	3.0			
ガスオープン撤去	450×500×600H 置台共	台	1.0			
ステンレステーブル撤去	900×550×700H	台	1.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a-2 給水設備撤去						
給水管撤去	VB・屋内一般 20A	m	15.0			
〃	VB・機械室便所 20A	m	6.0			
仕切弁撤去	GV 20A	個	2.0			
単水栓撤去	13A	個	10.0			
給水管保温撤去	GW 隠蔽部 20A	m	10.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a-3 給湯設備撤去						
ガス瞬間湯沸器撤去 WHG-1	屋内壁掛形 5号	台	2.0			
ガス給湯器撤去 WHG-2	屋内壁掛形 20号 VE式 排気筒・トップ共	台	1.0			
給湯管撤去	HVE・屋内一般 20A	m	12.0			
仕切弁撤去	GV 20A	個	1.0			
単水栓撤去	13A	個	3.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a-4 排水設備撤去						
污水管撤去	VP 屋内一般 100A	m	3.0			
〃	VP 機械室便所 100A	m	1.0			
雑排水管撤去	VP 屋内一般 50A	m	4.0			
〃	VP 屋内一般 65A	m	3.0			
〃	VP 機械室便所 40A	m	1.0			
〃	VP 機械室便所 50A	m	1.0			
〃	VP 機械室便所 65A	m	2.0			
通気管撤去	VP 機械室便所 40A	m	1.0			
〃	VP 機械室便所 50A	m	7.0			
〃	VP 機械室便所 65A	m	8.0			
床上掃除口撤去	COA 100A	個	1.0			
通気口撤去	VE 50A	個	1.0			
〃	VE 65A	個	1.0			
排水管保温撤去	GW 隠蔽部 40A	m	1.0			
排水管保温撤去	GW 隠蔽部 50A	m	2.0			
排水管保温撤去	GW 隠蔽部 65A	m	4.0			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
排水管保温撤去	GW 隠蔽部 100A	m	4.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a-5 ガス設備撤去						
ガス管撤去	SGP・屋内一般 20A	m	19.0			
〃	SGP・屋外架空 20A	m	35.0			
ガス栓撤去	GC 20A	個	3.0			
〃	1口 or 2口形 15A	個	8.0			
ガス漏れ警報器撤去		個	4.0			
ガスメーター撤去	2本立集合装置共	組	1.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a-6 暖房設備撤去						
排気筒撤去	100 φ	m	17.0			
排気筒トップ撤去	100 φ	個	2.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
a-7 換気設備撤去						
天井埋込形換気扇撤去 FV-1	接続ダクト径 100 φ	台	4.0			
標準換気扇撤去 VP-1	ウェザーカバー共 羽根径 250 φ	台	11.0			
パイプ用ファン撤去	接続ダクト径 100 φ	台	1.0			
スパイラルダクト撤去	100 φ	m	9.0			
〃	150 φ	m	4.0			
ベンドキャップ撤去	100 φ	個	1.0			
〃	150 φ	個	2.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
b 屋外設備撤去工事						
b-1 給水設備撤去						
給水管撤去	HI・屋外地中 20A	m	14.0			
〃	HI・屋外地中 25A	m	46.0			
〃	VD・屋外地中 20A	m	2.0			
〃	VD・屋外地中 25A	m	1.0			
地下式水抜栓撤去	20A	個	2.0			
遠隔開閉器式地下式水抜栓撤去	壁式手動式遠隔開閉器付 20A	個	1.0			
〃	壁式手動式遠隔開閉器付 25A	個	2.0			
水抜栓ボックス撤去	塩ビ製・樹脂蓋	組	5.0			
散水栓	铸铁製ボックス共 13A	組	1.0			
既設管切断キャップ止め	HI・地中埋設 25A	ヶ所	1.0			
撤去用土工事(根切り)	つぼ、布掘り(機械)	m3	19.1			
撤去用土工事(埋戻し)	発生土埋め戻し(機械)	m3	19.1			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
b-2 排水設備撤去						
排水管撤去	VP・屋外地中 50A	m	1.0			
〃	VP・屋外地中 65A	m	1.0			
〃	VP・屋外地中 75A	m	1.0			
〃	VP・屋外地中 100 φ	m	61.0			
小口径塩ビトラップ柵撤去	75-200 樹脂蓋 500H以下	ヶ所	2.0			
〃	75-200 樹脂蓋 1,200H以下	ヶ所	2.0			
小口径塩ビ柵撤去	100-150 樹脂蓋 500H以下	ヶ所	2.0			
〃	100-150 樹脂蓋 800H以下	ヶ所	3.0			
〃	100-150 樹脂蓋 1,200H以下	ヶ所	4.0			
〃	100-150 樹脂蓋 1,500H以下	ヶ所	3.0			
既設管切断キャップ止め	VP・地中埋設 100A	ヶ所	1.0			
撤去用土工事(根切り)	つぼ、布掘り(機械)	m3	60.9			
撤去用土工事(埋戻し)	発生土埋め戻し(機械)	m3	60.9			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
c 産業廃棄物処理						
廃材積込	金属屑 (鋼管・弁・設備機器類)	m3	1.0			
〃	コンクリート塊(有筋) (陶器・ガラス含む)	m3	1.4			
〃	安定型混合廃棄物 (塩ビ管・保温材含む)	m3	6.2			
廃材運搬	金属屑 (鋼管・弁・設備機器類)	m3	1.0			
〃	コンクリート塊(有筋) (陶器・ガラス含む)	m3	1.4			
〃	安定型混合廃棄物 (塩ビ管・保温材含む)	m3	6.2			
廃材処分	金属屑 (鋼管・弁・設備機器類)	t	1.1			
〃	コンクリート塊(有筋) (陶器・ガラス含む)	m3	1.4			
〃	安定型混合廃棄物 (塩ビ管・保温材含む)	m3	6.2			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5.外構撤去・盛土整地						
U字溝撤去	W=150, 運搬費・処分費共	m				
ネットフェンス撤去	H=1000, ブロック基礎共 運搬費・処分費共	m				
同布基礎撤去	W120 H600程度 運搬費・処分費共	m				
植栽伐採, 撤去	松・桜300φ2本 伐根含 運搬費・処分費共	式				
コンクリート縁石撤去	100x100L=600, 運搬費・処分費共	m				
オイルタンク撤去		ヶ所				
物置撤去		ヶ所				
客土	山ズリ程度・現場搬入	m ³				
整地	機械	m ³				
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6.運搬・処分費						
6-1 運搬費						
アルミサッシ	4tダンプトラック	回				
鉄骨	10tダンプトラック	回				
金属類	4tダンプトラック	回				
がれき類	10tダンプトラック	回				
がれき類(アスベスト含有)	10tダンプトラック	回				
木くず	4tダンプトラック	回				
コンクリート	10tダンプトラック	回				
ガラス類	他廃棄物に同積載					
石膏ボード類	4tダンプトラック	回				
廃プラスチック	4tダンプトラック	回				
廃プラスチック(アスベスト含有)	他廃棄物に同積載					
ラスモルタル(アスベスト含有)	10tダンプトラック	回				
6-1 小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6-2 処分費						
アルミサッシ		kg				
鉄骨		t				
金属類		t				
がれき類		m ³				
がれき類(アスベスト含有)		m ³				
木くず		m ³				
コンクリート	有筋	t				
ガラス類		m ³				
石膏ボード類		m ³				
廃プラスチック		m ³				
廃プラスチック(アスベスト含有)		m ³				
ラスモルタル(アスベスト含有)		m ³				
6-2 小 計						
6 合 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B-2 堀金人権教育集会所解体工事						
1.直接仮設工事		式	1			
2.既存建物解体工事		式	1			
3.電気設備撤去工事		式	1			
4.機械設備撤去工事		式	1			
5.外構撤去費・盛土整地		式	1			
6.運搬・処分費		式	1			
計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1.直接仮設工事						
外部足場	クサビ緊結式、手摺共	m ²	291.0			
外部シート張養生	防炎シート・防音シート	m ²	291.0			
内部足場	脚立程度	m ²	19.4			
計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2.既存建物解体工事						
2-1外部撤去工事						
サッシ廻り研り	アスベスト含有	m	112.0			
サッシ撤去		ヶ所	17.0			
窓手摺撤去		ヶ所	3.0			
軒天珪酸カルシウム板撤去	アスベスト含有、手ばらし	m ²	52.0			
2-1 小計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2-2内部撤去工事						
ロックウール吸音板撤去	下地石膏ボード共, アスベスト含有	m ²	28.9			
2-2 小計						
2-3 解体工事						
建物上屋解体	手こわし併用機械解体	m ²	150.0			
基礎解体		m ³	6.5			
土間解体		m ³	2.6			
2-3 小計						
2 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3・電気設備撤去						
3-1照明器具撤去工事						
富士型 40x2	FSS4-402相当	台	4			
トラフ型 20x1	FL20x1	台	2			
ペンダント(CL)	FCL30x1	台	2			
ブラケット	IL60	台	2			
棚下灯	FL20x1	台	2			
スクエア型 □650	FL20x4相当	台	4			
ダウンライト 150□	FDL13x1	台	4			
誘導灯(中型 片面)	FL10x1	台	2			
誘導灯(コンパクトスクエア)	C級	台	1			
引込線撤去						
電力会社申請手続費		式	1			
3-1 小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3-2発生材処分費						
産業廃棄物		kg	70.7			
電球	60W相当分	個	2			
蛍光管(直管)	10W-15W相当分	本	2			
蛍光管(直管)	20W相当分	本	20			
蛍光管(直管)	40W相当分	本	8			
蛍光管(環状管)	10～40W相当分	本	2			
蛍光管(コンパクト型)	FD113W	本	3			
運搬費		回	1			
3-2 小 計						
3 一 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
機械設備工事						
A 設備設備撤去工事		式	1.0			
B 産業廃棄物処理	積み込み、収集運搬共	式	1.0			
計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A 設備設備撤去工事						
A-1 衛生器具設備						
和風大便器撤去	隅付ロータンク式・紙巻器・他付属品共	組	1.0			
洋風便器撤去	隅付ロータンク式・紙巻器・他付属品共	組	1.0			
床置ストール小便器撤去	フラッシュ弁式・他付属品共	組	2.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A-2 給水設備撤去						
給水管撤去	VP・屋外地中 13A	m	32.0			
〃	GP・屋内一般 15A	m	2.0			
〃	GP・屋外架空 15A	m	10.0			
〃	GP・屋外地中 15A	m	5.0			
単水栓撤去	13A	個	5.0			
散水栓	鋳鉄製ボックス共 13A	組	1.0			
地下式水抜栓撤去	15A	個	5.0			
水抜栓ボックス撤去	塩ビ製・樹脂蓋	組	2.0			
〃	塩ビ製・鋳鉄蓋	組	3.0			
給水管保温撤去	PF 屋外露出部(テープ巻き) 15A	m	10.0			
凍結防止ヒーター撤去		m	10.0			
既設管切断キャップ止め	VP・地中埋設 13A	ヶ所	1.0			
撤去用土工事(根切り)	つぼ、布掘り(機械)	m3	10.0			
撤去用土工事(埋戻し)	発生土埋め戻し(機械)	m3	10.0			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A-3 排水設備撤去						
排水管撤去	VU 屋内一般 50A	m	2.0			
排水管撤去	VU 屋外地中 50A	m	6.0			
排水管撤去	VU 屋外地中 75A	m	2.0			
排水管撤去	VU 屋外地中 100A	m	38.0			
床排水トラップ撤去	T5A 50A	個	1.0			
小口径塩ビトラップ枠撤去	75-200 樹脂蓋 500H以下	ヶ所	1.0			
〃	75-200 樹脂蓋 800H以下	ヶ所	1.0			
小口径塩ビ枠撤去	100-150 樹脂蓋 500H以下	ヶ所	1.0			
〃	100-150 樹脂蓋 800H以下	ヶ所	3.0			
〃	100-150 樹脂蓋 1,200H以下	ヶ所	5.0			
〃	100-150 樹脂蓋 1,500H以下	ヶ所	1.0			
既設管切断キャップ止め	VU・地中埋設 100A	ヶ所	1.0			
撤去用土工事(根切り)	つぼ、布掘り(機械)	m3	21.5			
撤去用土工事(埋戻し)	発生土埋め戻し(機械)	m3	21.5			

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A-4 ガス設備撤去						
ガス瞬間湯沸器撤去 WHG-1	屋内壁掛形 5号	台	1.0			
ガス管撤去	SGP・屋内一般 15A	m	1.0			
〃	SGP・屋外架空 15A	m	3.0			
ガス栓撤去	GC 15A	個	1.0			
〃	1口 or 2口形 15A	個	2.0			
ガス漏れ警報器撤去		個	1.0			
ガスメーター撤去	2本立集合装置共	組	1.0			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A-5 換気設備撤去						
天井埋込形換気扇撤去 FV-1	接続ダクト径 100 φ	台	1.0			
標準換気扇撤去 VP-1	ウェザーカバー共 羽根径 250 φ	台	1.0			
スパイラルダクト撤去	100 φ	m	1.0			
ベンドキャップ撤去	100 φ	個	1.0			
小 計						
Aー計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B 産業廃棄物処理						
廃材積込	金属屑 (鋼管・弁・設備機器類)	m3	0.1			
〃	コンクリート塊(有筋) (陶器・ガラス含む)	m3	0.6			
〃	安定型混合廃棄物 (塩ビ管・保温材含む)	m3	0.8			
廃材運搬	金属屑 (鋼管・弁・設備機器類)	m3	0.1			
〃	コンクリート塊(有筋) (陶器・ガラス含む)	m3	0.6			
〃	安定型混合廃棄物 (塩ビ管・保温材含む)	m3	0.8			
廃材処分	金属屑 (鋼管・弁・設備機器類)	t	0.11			
〃	コンクリート塊(有筋) (陶器・ガラス含む)	m3	0.6			
〃	安定型混合廃棄物 (塩ビ管・保温材含む)	m3	0.8			
小 計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5.外構撤去費・盛土整地						
物置移設	プレハブ物置6.67㎡	式	1.0			
境界ブロック塀解体	CB120 5段積控壁、基礎共	m	17.6			
アスファルト舗装撤去		㎡	165.0			
カーブミラー撤去		ヶ所	1.0			
物置撤去	プレハブ物置2.20㎡	ヶ所	1.0			
植栽撤去	100φ程度伐根共4本	式	1.0			
水汲み場改修	水路復旧	ヶ所	2.0			
敷地内客土	山ズリ程度・現場搬入	㎡	49.0			
整地		㎡	49.0			
計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6.運搬・処分費						
6-1.運搬費						
がれき類(瓦, ガラス等)	4tダンプ車	回	4.0			
がれき類(モルタル等)	アスベスト含有、4tダンプ車	回	3.0			
安定型混合廃棄物(吸音板, 珪カル版等)	アスベスト含有、4tダンプ車	回	1.0			
コンクリート塊	30cm越 アスベスト含有、4tダンプ車	回	3.0			
コンクリート塊	30cm越 、4tダンプ車	回	7.0			
アスファルト塊	40cm超、4tダンプ車	回	5.0			
金属くず	4tダンプ車	回	1.0			
アルミサッシ	4tダンプ車	回	1.0			
木くず	4tダンプ車	回	4.0			
6-1 小計						

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6-2.処分費						
がれき類(瓦, 繊維壁)	30cm以上	m ³	11.0			
がれき類(モルタル等)	アスベスト含有	m ³	4.2			
安定型混合廃棄物(ボード類)	アスベスト含有	m ³	1.1			
石膏ボード		m ³	3.1			
コンクリート(モルタル共)	アスベスト含有 30cm以上	t	10.0			
コンクリート	30cm以上	t	26.6			
アスファルト塊	40cm以上	t	19.0			
ガラス類		m ³	3.6			
木くず		m ³	28.6			
金属くず		t	0.11			
アルミサッシ	買取	kg	533.0			
6-2 小 計						
6 計						

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所 解体工事

2. 工事場所： 安曇野市 穂高・堀金人権教育集会所

2. 工事概要：
- ・穂高・堀金人権教育集会所の解体
 - ・物置、植栽の撤去（2現場共通）
 - ・解体撤去後、敷地内の整地（2現場共通）

4. 工期 契約日から令和9年1月15日

5. 一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管

理者と協議のうえ、同意を得ること。

- (3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。
- (5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (6) 感染症対策は十分に講じること。
- (7) 各官公庁手続きについて、
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

~~(8) 残土関係~~

~~本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

~~(9) この工事は執務並行型の工事である。~~

- (10) 本工事は、「安曇野市週休2日工事実施要領」の通期の週休2日工事の対象である。
- (11) 埋土材については、解体後の状況により監督員と協議のうえ、決定すること。

~~7. 本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

8. 安全対策関係

①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期す

ることができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。
 - ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
 - ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
 - ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によ

り、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」いう。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

- ①アスベスト材料の種別
- ②アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平

成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認証を受けた工場)で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者(コンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

○添付書類

- ・工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使うことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

25. 設計変更による工事費について

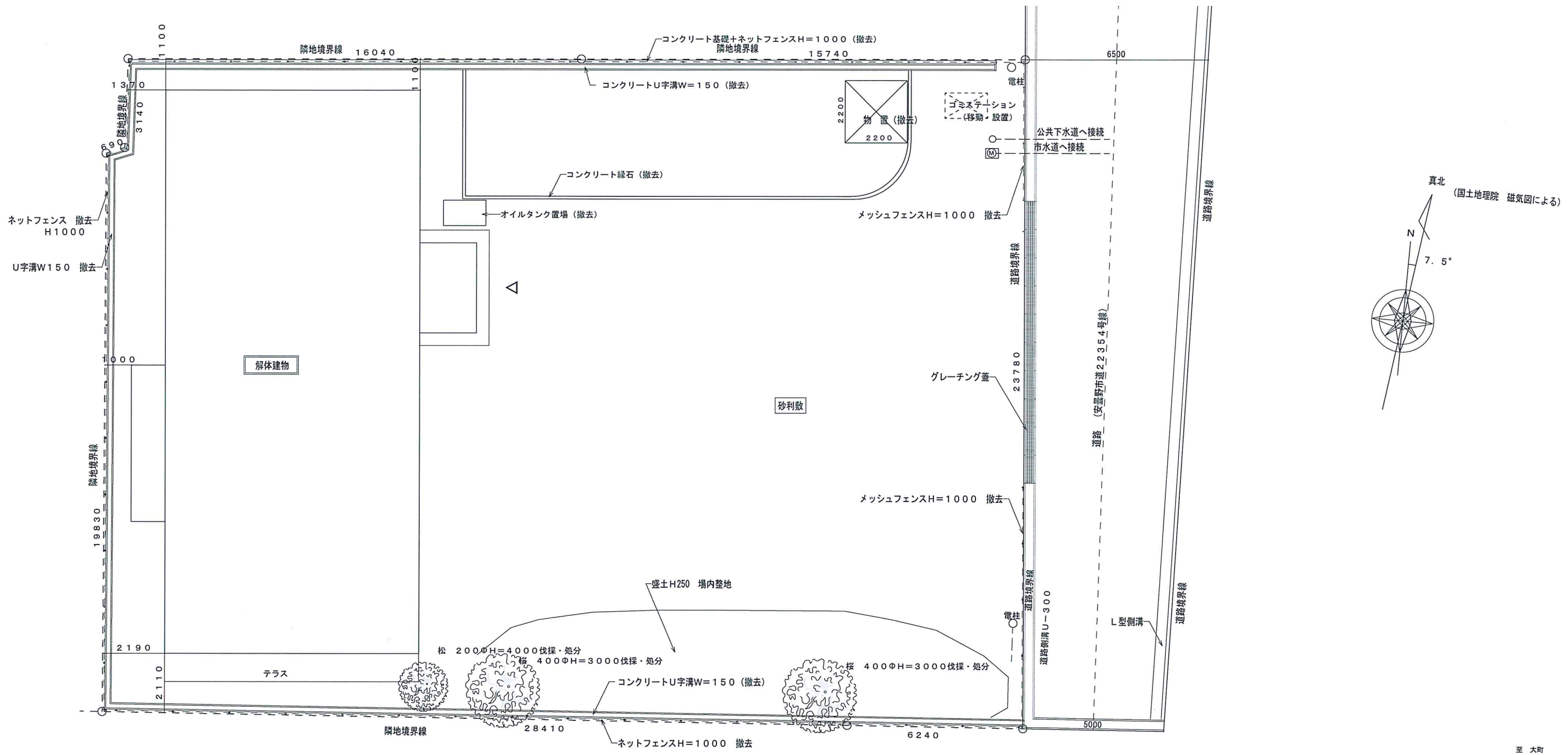
設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

〔変更請負額〕＝{〔変更設計工事価格〕×〔当初請負比率〕}※1＋〔消費税相当額〕

当初請負比率：〔当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額〕／〔当初設計額の工事価格〕

※1 有効桁上位4桁、5桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和8年4月1日適用版



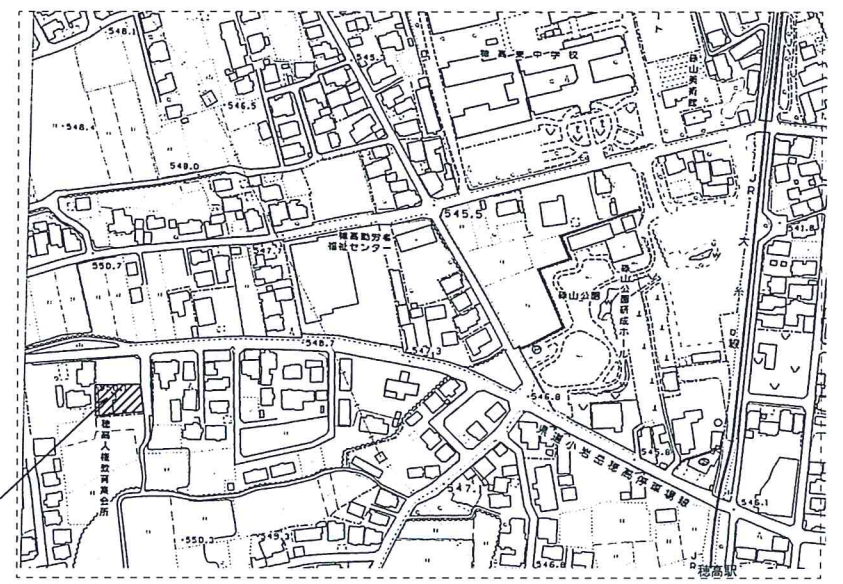
配置図 S=1:100

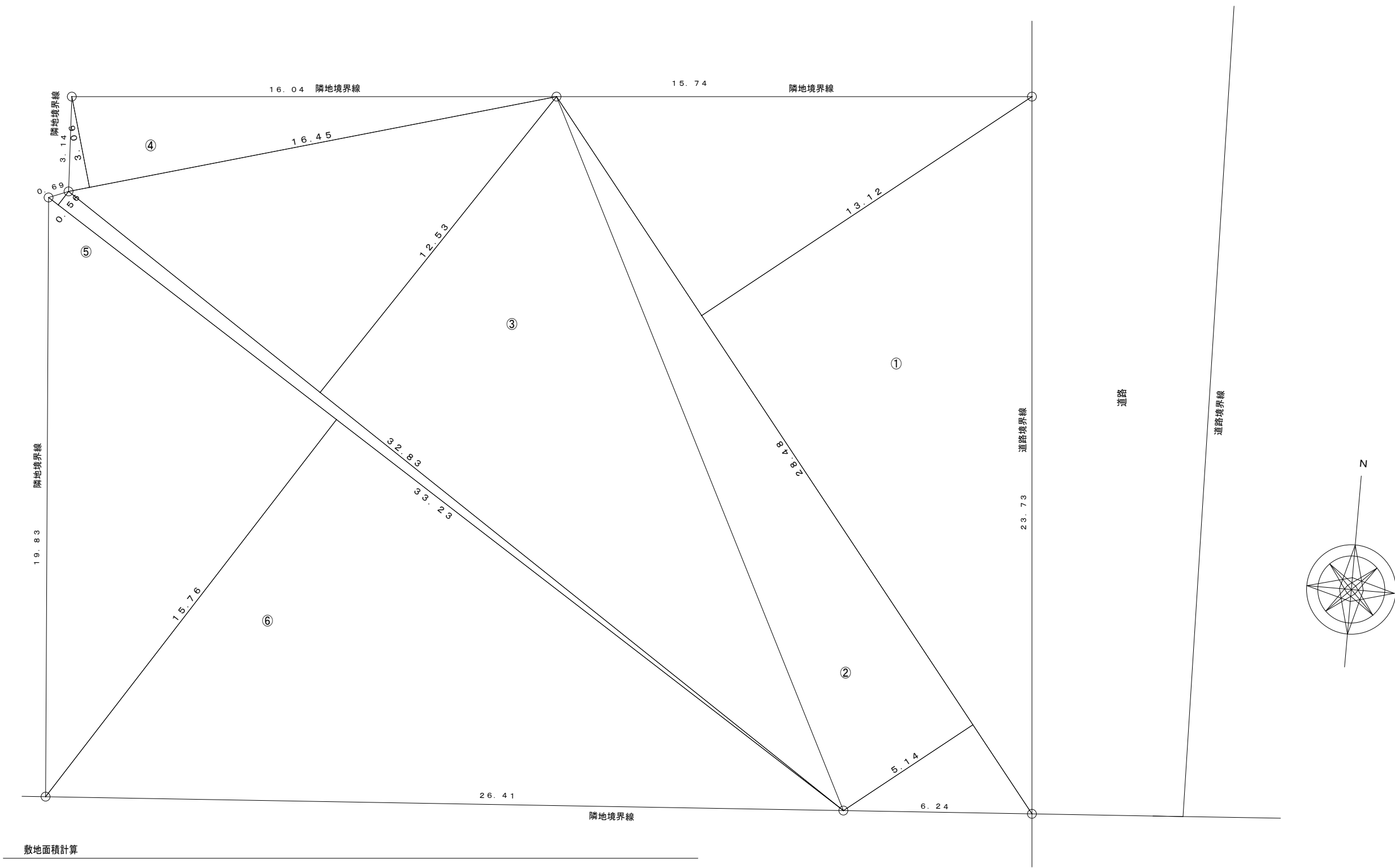
面積表				
	集会所		物置(プレハブ)	
			合計	
敷地面積			762.02	m ²
建築面積	193.06	m ²	4.84	m ²
1階床面積	186.66	m ²	4.84	m ²
2階床面積	137.70	m ²		m ²
延床面積	324.36	m ²	4.84	m ²



申請地: 安曇野市穂高5716番1
穂高人権教育集会所

案内図





敷地面積計算				
①	28.48	x	13.12	= 373.6576
②	28.48	x	5.14	= 146.3872
③	32.83	x	12.53	= 411.3599
④	16.45	x	3.06	= 50.337
⑤	33.23	x	0.56	= 18.6088
⑥	33.23	x	15.76	= 523.7048
Σ				= 1524.0553
1524.0553			x 1/2	= 762.02765
敷地面積		762.02 m ²		

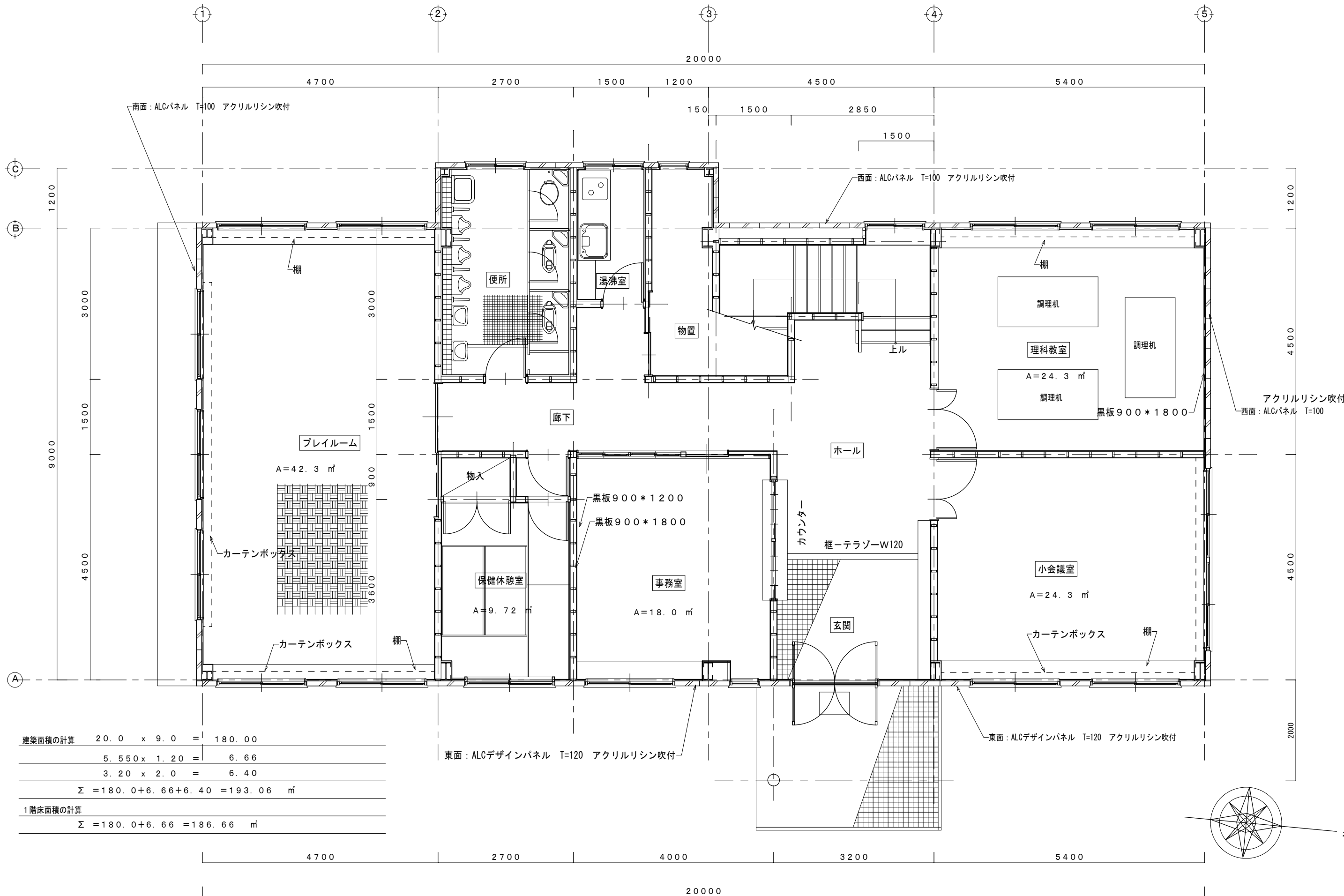
三斜分丈図 S=1:100

外 部 仕 上 表		概 要
屋 根	ルーフデッキ(折板) 葺き t =0. 8 裏面断熱材付 軒先: 化粧フレーム 軒先面戸, 水止面戸 タイトフレーム@1800	施設名称：穂高人権教育集会所
軒 天	Kラス下地 モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付 玄関軒天：LGS天井下地 アルミスパンドレル	敷地場所：安曇野市穂高5716番地1
外 壁	ALC版 ア)100縦張 アクリルリシン吹付 東面: ALC版 ア)120デザインパネル縦張 アクリルリシン吹付	用途地域：都市計画地域内 田園環境区域
基 礎	独立基礎 Fc =21N/mm2 , 布基礎 FC=18N/mm2 , 土間コンクリート FC=15N/mm2 モルタル金ゴテ アスベスト 含有	防火地域：指定なし
土 間	ポーチ: コンクリート 下地 磁器質タイル貼 100角 犬走り: コンクリート 下地 モルタル金ゴテ	建物規模：鉄骨造2階建 324. 36 m ²
建 具	ALC用アルミ サッシ(見込60) 玄関ドアALC用アルミ サッシ(見込100) 硝子: トーメイ板ガラス t =5、一部 型板ガラス t =4 , トーメイ 3 一部木製手摺	
コ ー キ ン グ	ALC: チョコール系(JI S) 窓枠: コーキング アスベスト 含有 打継コーキング アスベスト 含有	
ベ ラ ン ダ	床: コンクリート 均しモルタル下地 ゴム系シート防水 t =2. 0 立上りコーキング処理 スチール手摺 H=1200 OP塗	
そ の 他	笠木: PL1. 2mm曲加工 OP 玄関底部分: PL1. 6曲加工 OP 軒樋: PL2. 3 曲げ加工150x120 (ベランダ部) OP, PL1. 6曲げ加工150x150 (一般部) OP 縦樋: カラー鉄板 t =0. 4, 75φ	

内 部 仕 上 表							
階	室 名	床	巾 木	内 壁	天 井	天 井 高	備 考
1階	玄 関	磁器質タイル 100角	小口タイル H200 H300	木組 石膏ボード t=9.0 下地 ビニールクロス貼り	木組・板野縁5.5下地 化粧石膏ボード 9.0 (ジブトーン) 張り	2700, 2500	框 テラソー 120×200 アスベスト含有
	ホ ー ル	モルタル下地 長尺塩ビシート (ロンリ्यूーム) 張り アスベスト含有	ソフト巾木 H100	△	△	2500	
	廊 下	△ アスベスト含有	△	△	△	2500	
	階 段 (1～2)	△ アスベスト含有		△	△	2500	
	事 務 室	△ アスベスト含有	ソフト巾木 H100	△	△	2500	窓下：造り付棚 黒板 (900×1800 2台) 受付カウンター
	小 会 議 室	△ アスベスト含有	△	△	△	2750	窓下：造り付棚 黒板 (900×1800)
	理科教室 (調理室)	△ アスベスト含有	ソフト巾木 H100	ラスモルタル金ゴテ押え EP	△	2750	調理用机900×1800 3セット
	保健休養室踏込	△ アスベスト含有	△	木組 石膏ボード t=9.0 下地 ビニールクロス貼り	木組 石膏ボード t=9.0 下地 EP	2400	下駄箱
	保健休養室	合板 t=12下地 スタイロ置 ア)60 縁付	タタミ寄 H60	木組 石膏ボード t=9.0 下地 聚楽サテン吹付 アスベスト含有	杉桎目プリント石膏ボード t=9.0	2400	
	保健休養室押入	構造用合板 t=9.0 表し	雑巾摺	ラワン合板 t=4.0 表し	ラワン合板 t=4.0 表し	2250	中段 枕棚
2階	ブレイルーム	合板 t=15下地 フローリングブロック貼り CL	ソフト巾木 H100	木組 石膏ボード t=9.0 下地 ビニールクロス貼り	木組・板野縁5.5下地 化粧石膏ボード 9.0 (ジブトーン) 張り	2600	窓下：造り付棚
	湯 沸 室	モルタル下地 長尺塩ビシート (ロンリ्यूーム) 張り アスベスト含有	モルタル金ゴテ (目地) H100 アスベスト含有	ラスモルタル金ゴテ押え EP アスベスト含有	木組 石膏ボード t=9.0 下地 EP	2400	流し台, コンロ台, ガスコンロ, 吊戸棚 瞬間湯沸機
	便 所	磁器質タイル50角張り 踏込：長尺塩ビシート貼り アスベスト含有	ラスモルタル磁器質100角タイル アスベスト含有 H=1200	ラスモルタル金ゴテ押え プラスター金ゴテ押え アスベスト含有	耐水合板 T=4.0 OP	2400	トイレブース (合板フラッシュ) 框 人研ぎ アスベスト含有
	階段下物置	モルタル下地 長尺塩ビシート (ロンリ्यूーム) 張り アスベスト含有		ラワン合板 t=5.5 表し	ラワン合板 t=4.0 表し	2500	
	廊 下	モルタル下地 長尺塩ビシート (ロンリ्यूーム) 張り アスベスト含有	ソフト巾木 H100	木組 石膏ボード t=9.0 下地 ビニールクロス貼り	木組・板野縁5.5下地 化粧石膏ボード 9.0 (ジブトーン) 張り	2400	
	大会議室踏込	△ 一部集成材踏板 CL	木製 H120	木組 石膏ボード t=9.0 下地 聚楽サテン吹付 アスベスト含有	板貼クロス (ヨシ)	2400	踏板 スリッパ入れ
	大 会 議 室	合板 t=12下地 スタイロ置 ア)60 縁付	タタミ寄 H60	△ アスベスト含有	杉桎目プリント石膏ボード t=9.0	2650	床の間
	大会議室押入	ラワン合板 t=5.5	雑巾摺	ラワン合板 t=4.0 表し	ラワン合板 t=4.0 表し	2400	中段 枕棚
	図書室兼学習室	モルタル下地 長尺塩ビシート (ロンリ्यूーム) 張り アスベスト含有	ソフト巾木 H100	木組 石膏ボード t=9.0 下地 ビニールクロス貼り	木組・板野縁5.5下地 化粧石膏ボード 9.0 (ジブトーン) 張り	2700	窓下：造り付棚
	湯 沸 室	△ アスベスト含有	モルタル金ゴテ (目地) H100 アスベスト含有	ラスモルタル金ゴテ押え EP アスベスト含有	木組 石膏ボード t=9.0 下地 EP	2400	流し台, コンロ台, ガスコンロ, 吊戸棚 瞬間湯沸機
3階	手 洗・便 所	△	ラスモルタル磁器質100角タイル アスベスト含有 H=800	ラスモルタル金ゴテ押え プラスター金ゴテ押え アスベスト含有	耐水合板 T=4.0 OP	2400	
	物 入	△		ラワン合板 t=5.5 表し	ラワン合板 t=4.0 表し	2500	棚 2カ所 (3段)

特 記 事 項	
・2階天井裏断熱材：グラスウール ア)100 (両面アルミ箔)	
・2階床版：ALC ア)120	
・床仕上材, 下地材, 壁吹付材にアスベストが含有されているので、十分対応すること。 (含有アスベストは、いずれもレベル3)	
・工事に際し、近隣住民の方々に十分説明、対応すること。	

	工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会)	日 付	図面名 仕上表	No. A-04
			縮 尺	

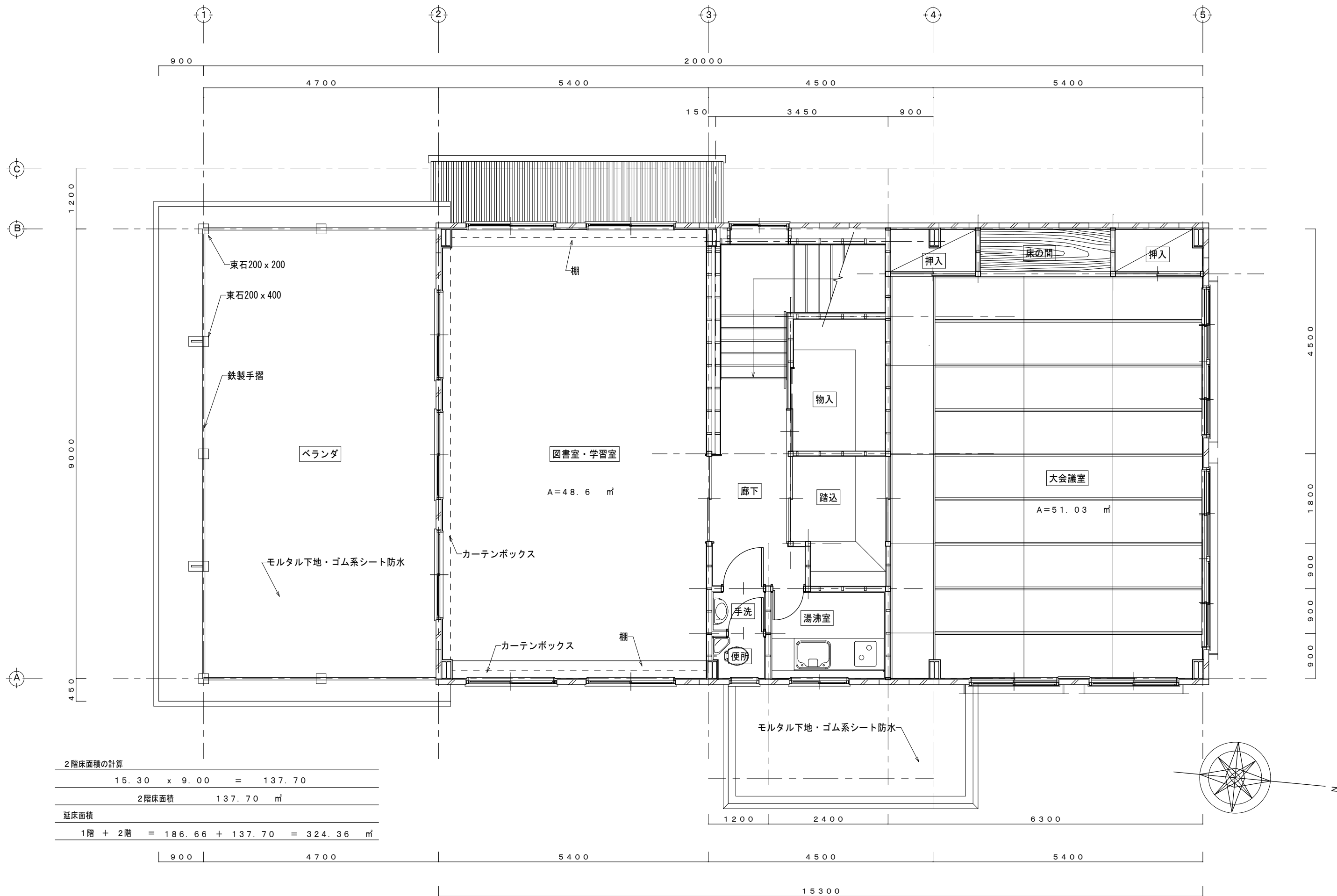


建築面積の計算	20.0	x	9.0	=	180.00
	5.550	x	1.20	=	6.66
	3.20	x	2.0	=	6.40
Σ	=180.0+6.66+6.40=193.06 m²				
1階床面積の計算					
Σ	=180.0+6.66=186.66 m²				

1階床面積 186.66 m²

1階平面図 S=1:50

工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会所)	日付	図面名 1階平面図	No. A-05
		縮尺 S=1:50 (A2)	



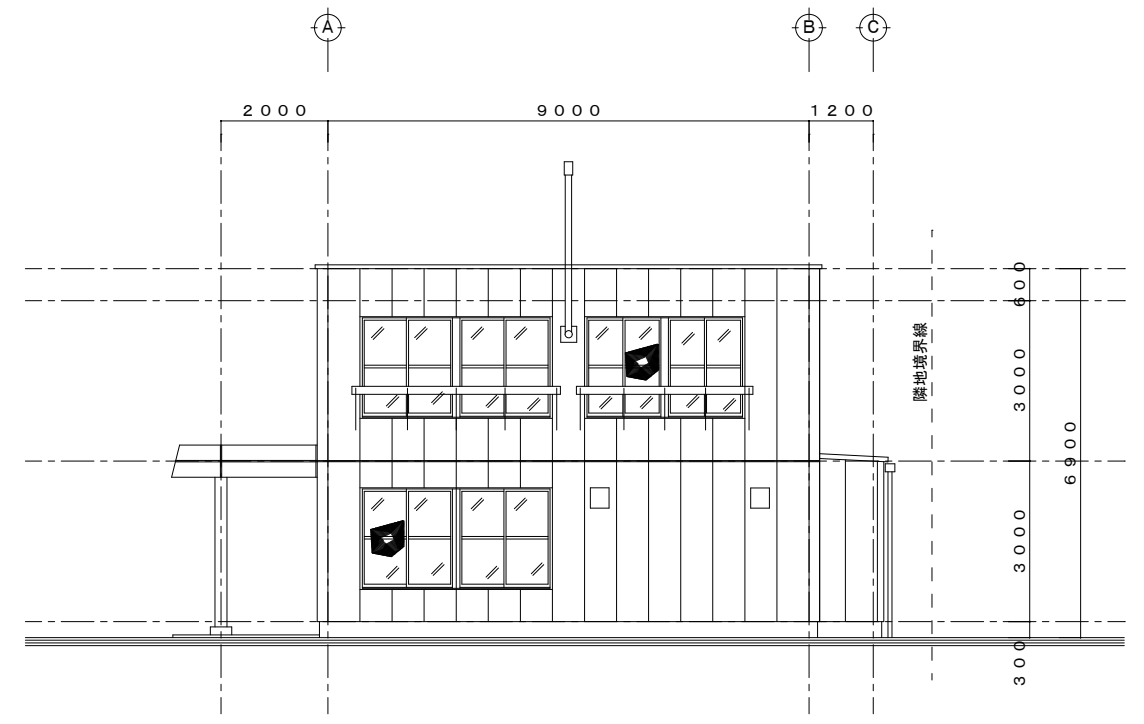
2階床面積の計算				
15.30	x	9.00	=	137.70
2階床面積		137.70	m ²	
延床面積				
1階 + 2階	=	186.66 + 137.70	=	324.36 m ²

2階平面図 S=1:50

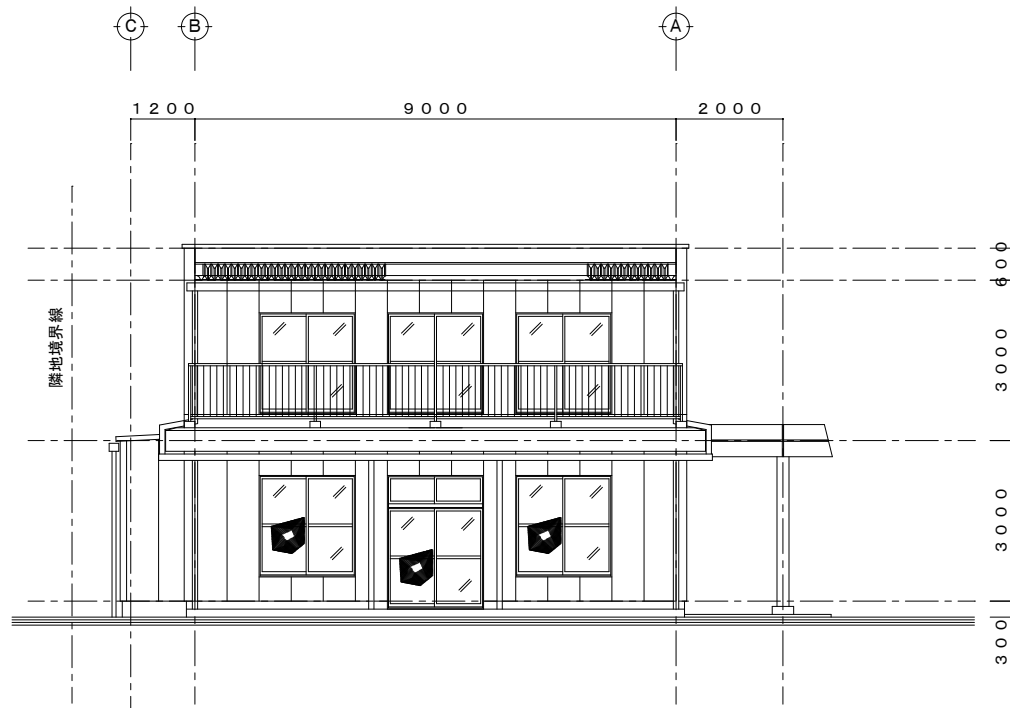
工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会所)	日付	図面名 2階平面図	No. A-06
		縮尺 S=1:50 (A2)	



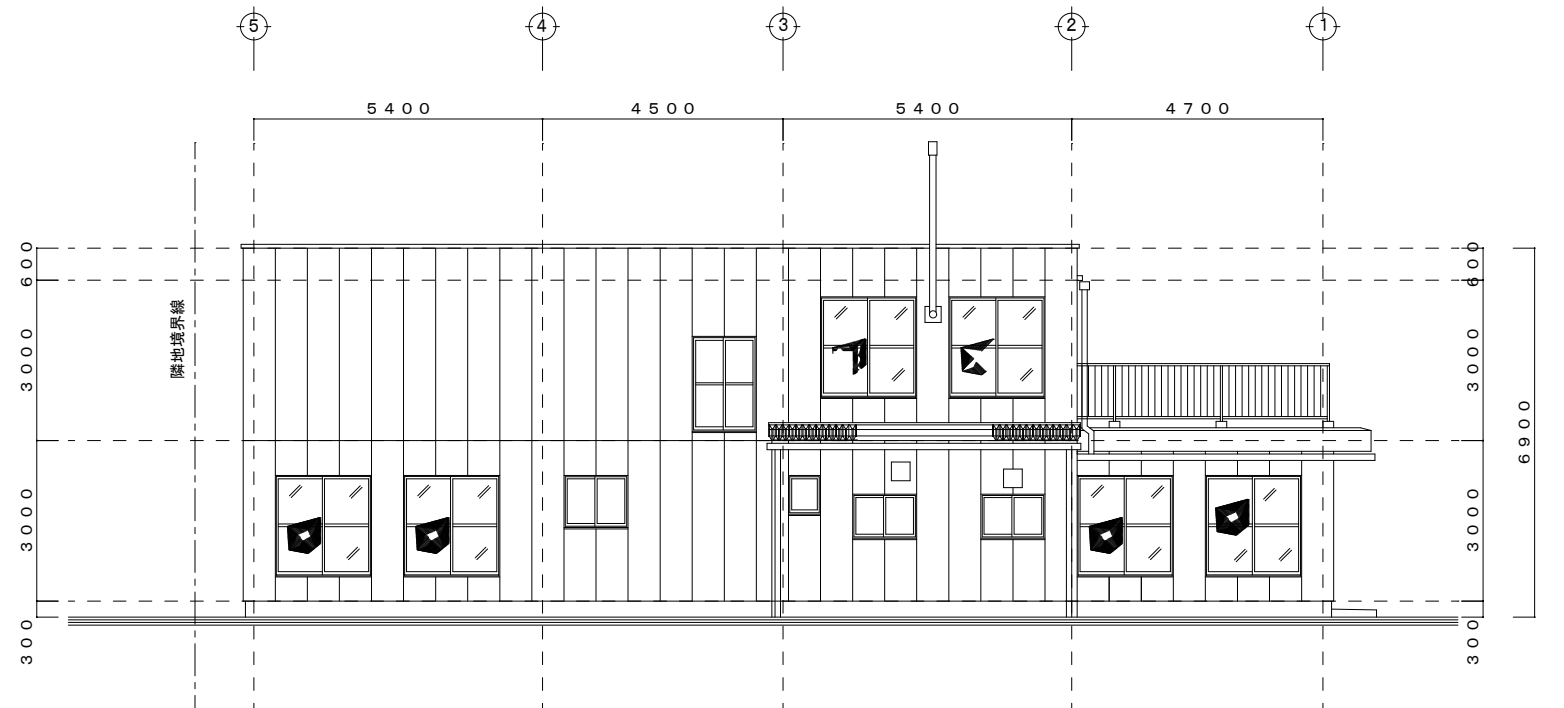
東 立面図 S=1 : 100



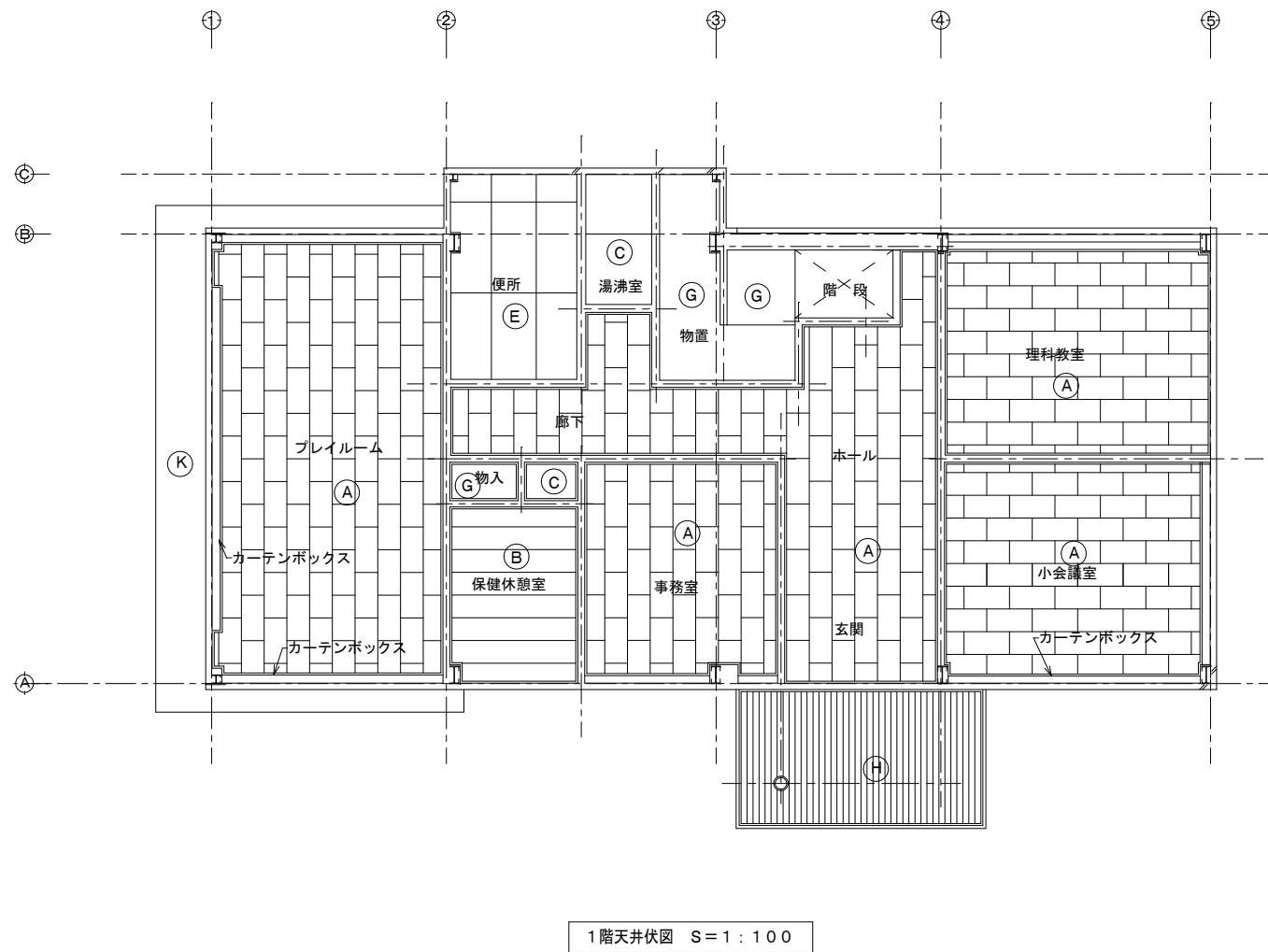
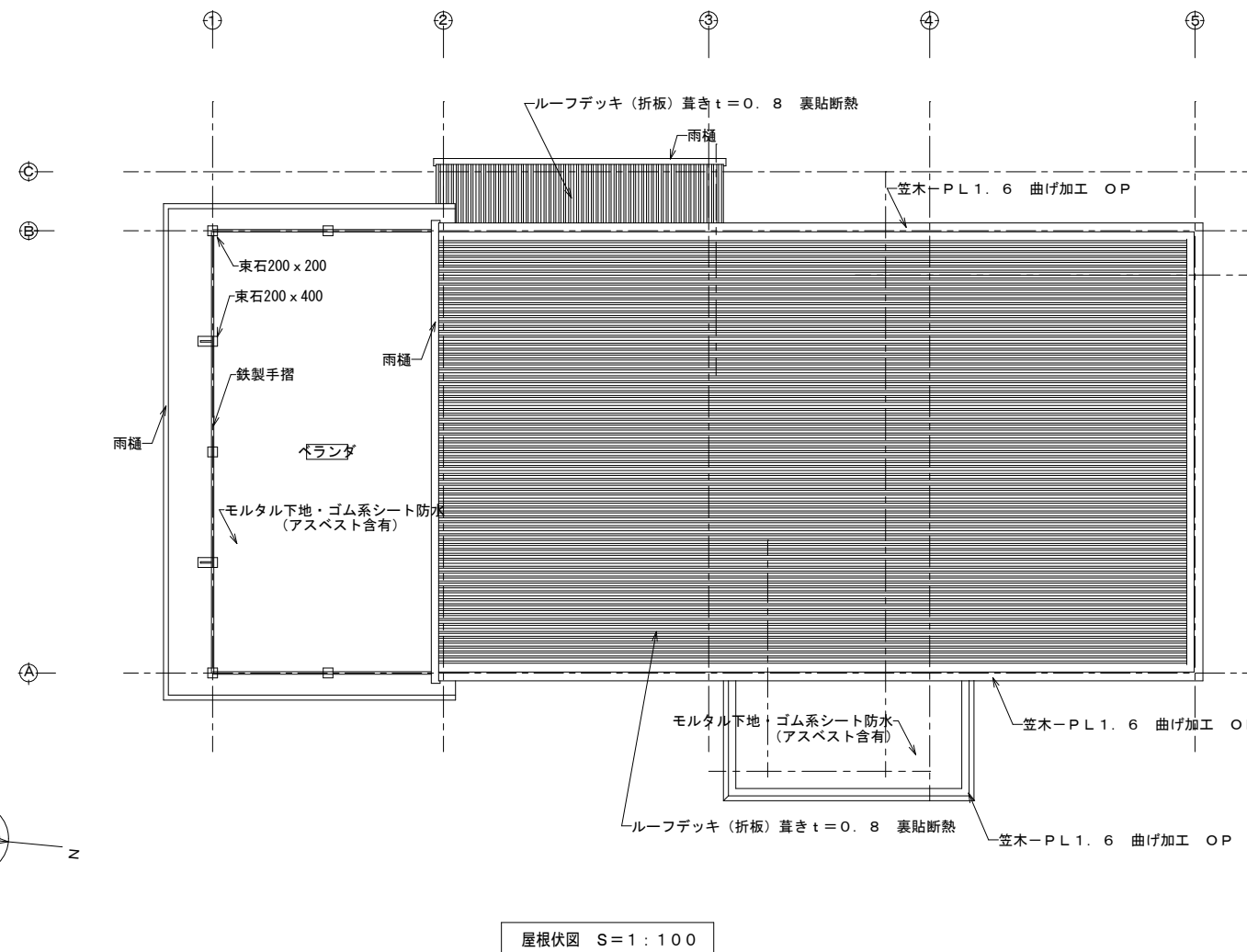
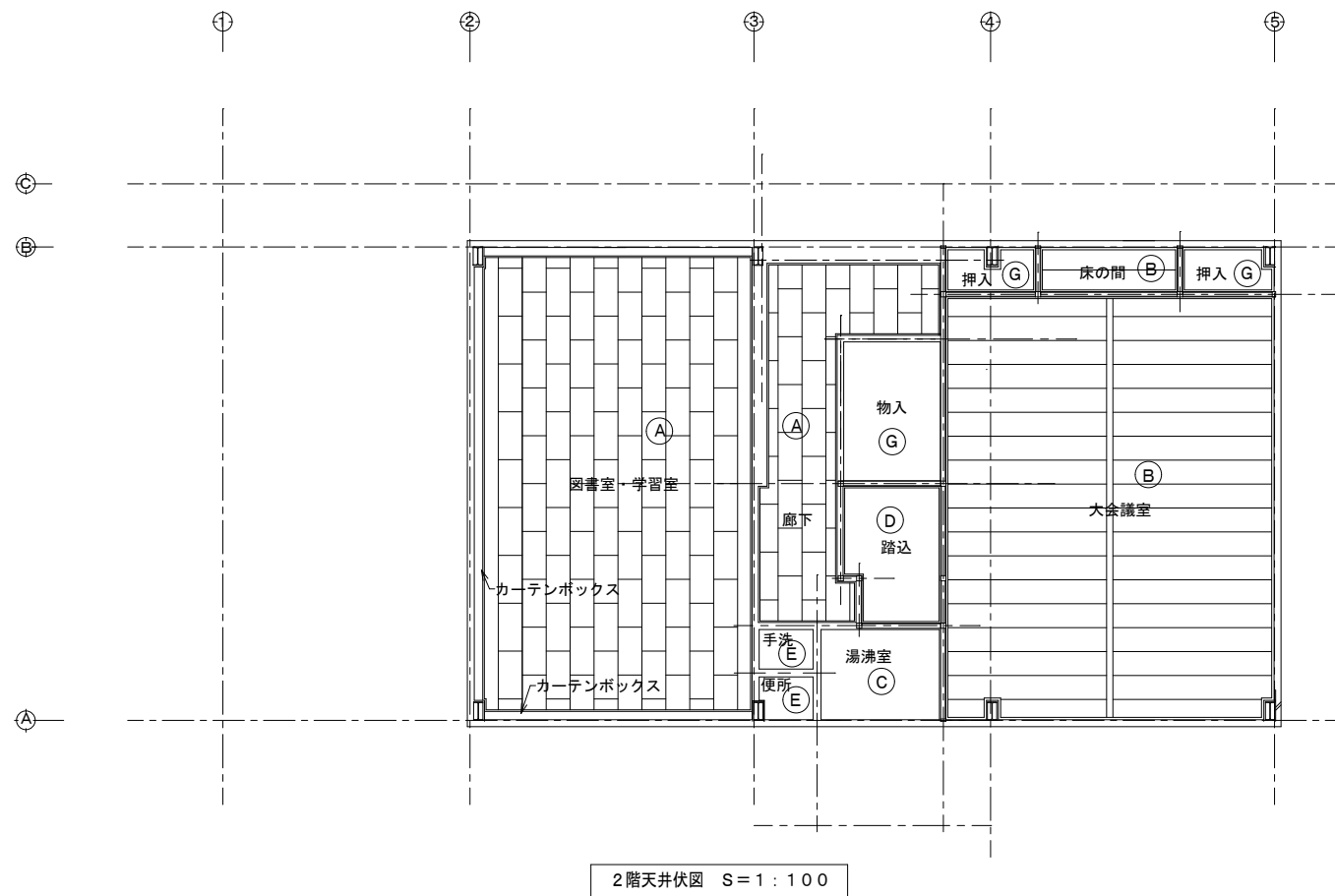
北 立面図 S=1 : 100



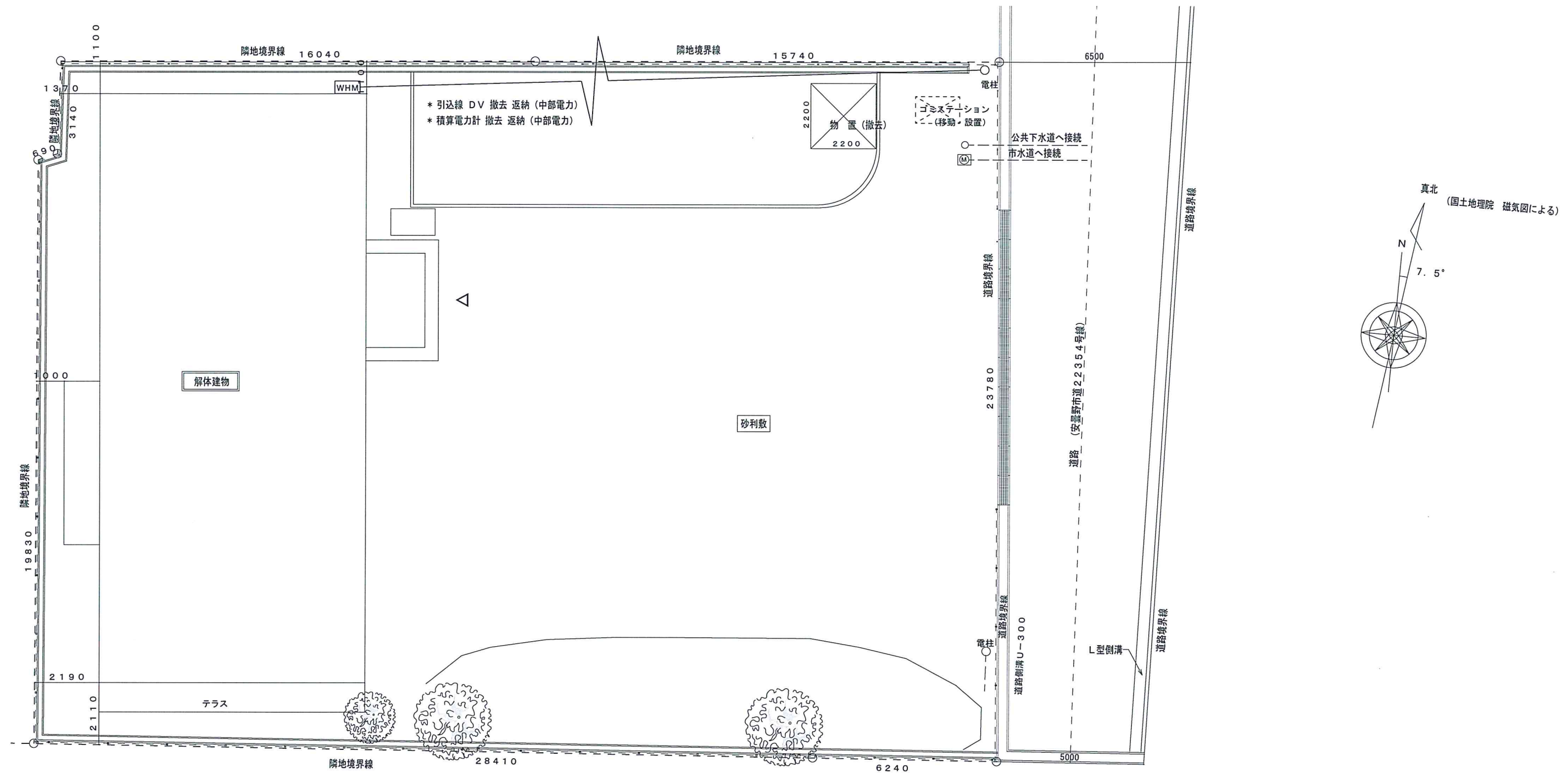
南 立面図 S=1 : 100



西 立面図 S=1 : 100



天井伏仕上凡例	
記号	仕上
(A)	木組 板野縁 5.5 下地 化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.0
(B)	杉証目プリント石膏ボード t=9.0
(C)	石膏ボード t=9.0 下地 EP
(D)	板貼クロス (ヨン)
(E)	耐水合板 T=4.0 OP
(G)	ラワン合板 T=4.0 表し
(H)	LGS天井下地 アルミスパンドレル
(K)	Kラス下地 モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付

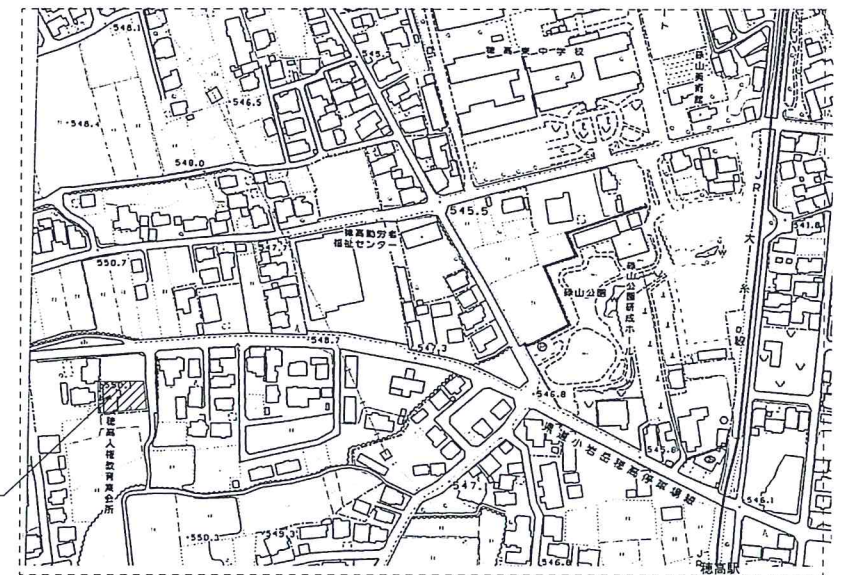


配置図 S=1:100

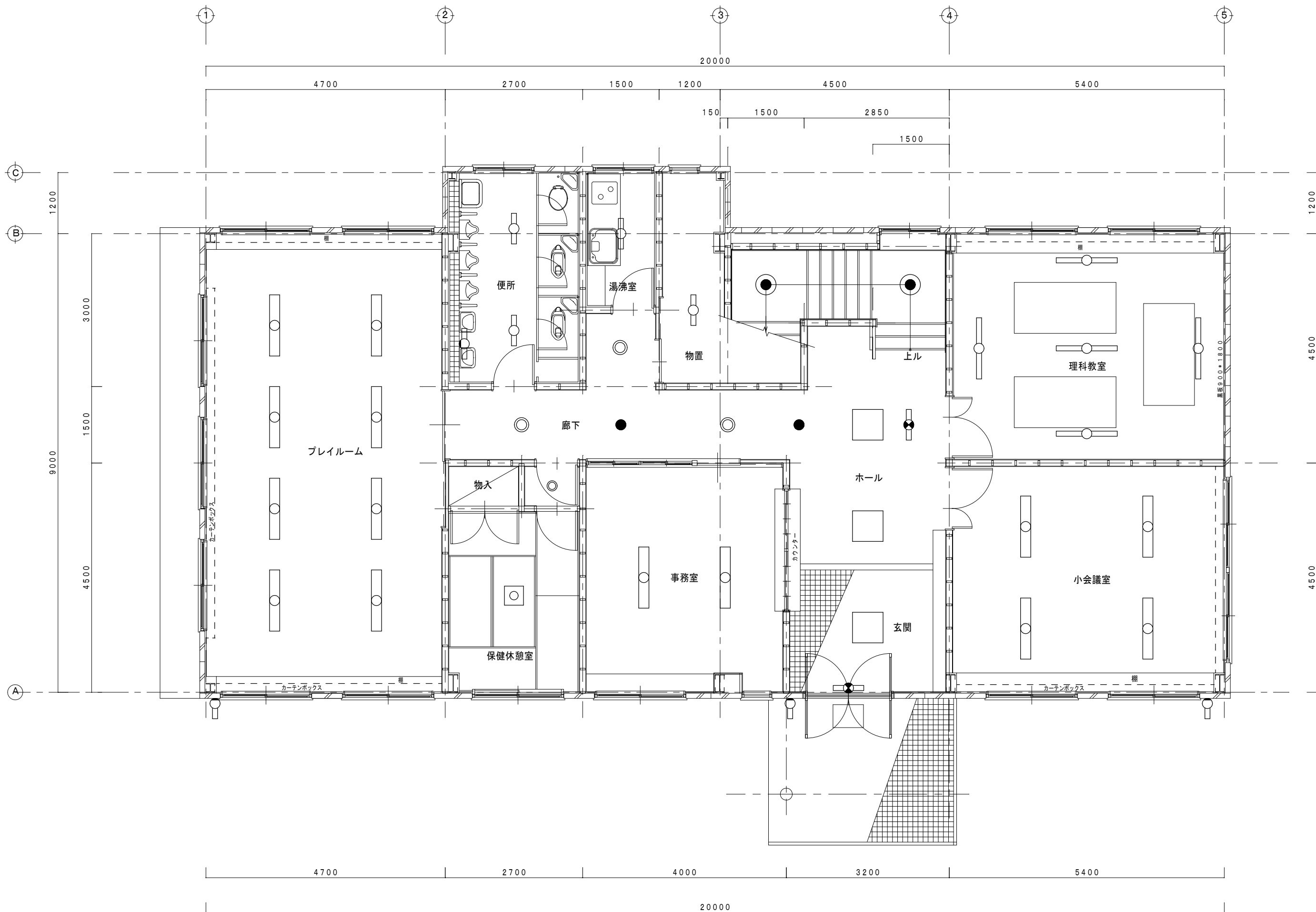


申請地：安曇野市穂高5716番1
穂高人権教育集会所

案内図

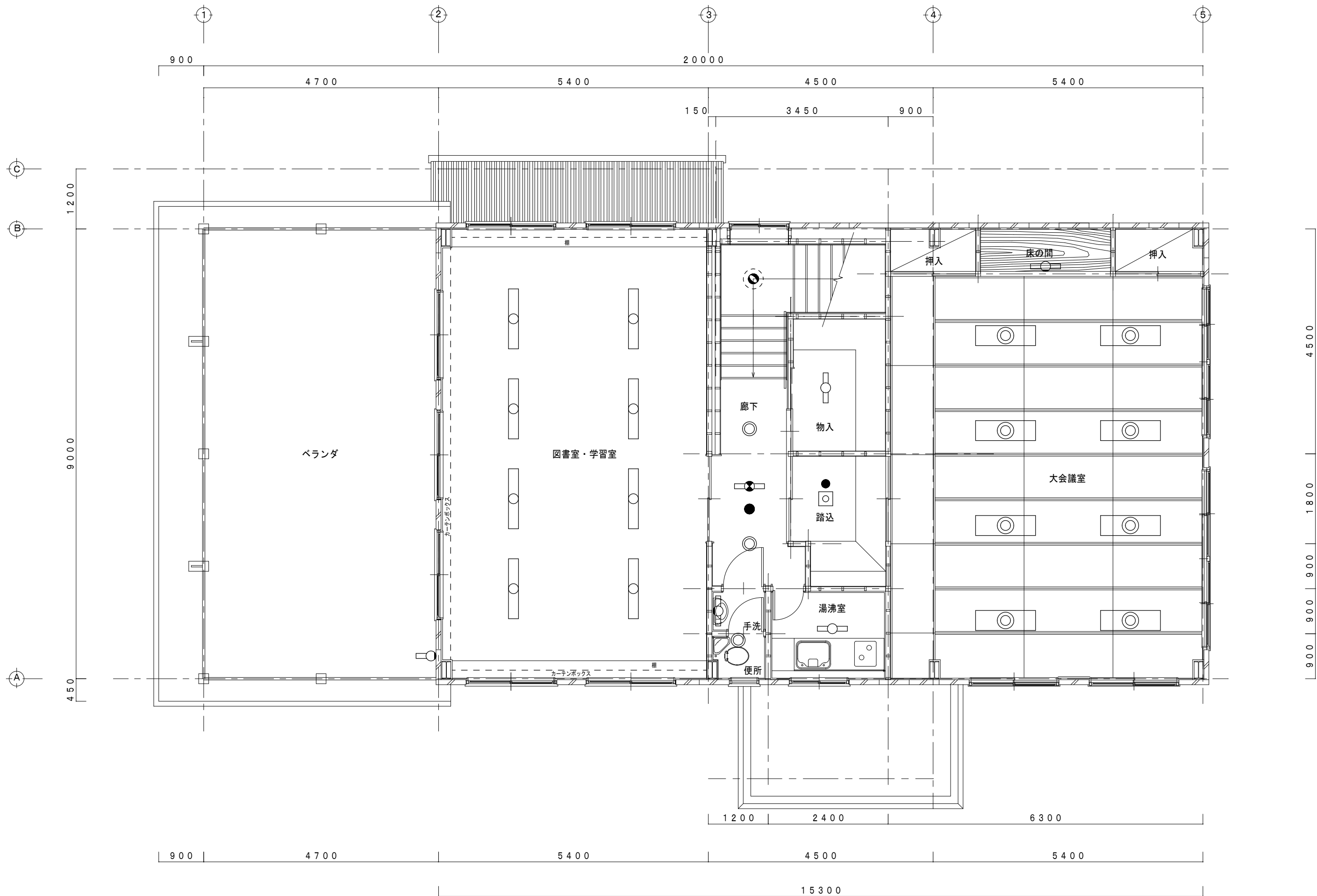


	工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会)	日付	図面名 配置図	No. E-01
			案内図 縮尺 1:100	



1階平面図 S=1:50

工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会所)	日付	図面名 1階平面図 照明器具 撤去 (蛍光灯・球 分別 廃棄)	No. E-02
		縮尺 S=1:50 (A2)	



工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会所)	日付	図面名 2階平面図 照明器具 撤去 (蛍光灯・球 分別 廃棄)	No. E-03
		縮尺 S=1:50 (A2)	

撤去機器リスト

全て撤去、処分

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
WHG-1	ガ ス 瞬 間 湯 沸 器 【 1 階、2 階湯沸室】	屋内壁掛形 給湯能力 5 号	2	
WHG-2	ガ ス 給 湯 器 【 1 階理科教室】	給湯単機能・屋内壁掛形・強制排気式 給湯能力 20 号 排気筒・排気トップ共	1	

撤去器具リスト

全て撤去、処分

器 具 名	付 属 品 そ の 他	数 量					合 計
		1 階			2 階		
		便 所	湯沸室	理科教室	便 所	湯沸室	
和風大便器	隅付ロータンク・紙巻器共	2					2
洋風便器	隅付ロータンク・紙巻器共	1			1		2
床置ストール小便器	フラッシュ弁	3					3
バック付掃除用流し	S トラップ・単水栓20A	1					1
壁掛手洗器	単水栓13A・L 止水栓・P トラップ	2			1		3
仕切板	陶器製	4					4
化粧鏡	350×450	2			1		3
調理実習台	2,100×900×800H・ガステーブル共			3			3
ガスオープン	450×500×600H 置台共			1			1
ステンレステーブル	900×550×700H			1			1
単水栓13A	分岐水栓含む		2	9		2	13
散水栓13A	铸铁製ボックス共 <屋外>						1
ガス栓	1 口型 or 2 口型		2	4		2	8
ガス漏れ警報器	LPG用		1	2		1	4

※特記事項（撤去工事）

- ・図示部分の機器・器具・配管・ダクト・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）
- ・既設のまま残置する配管等（点線部分・特記部分）は建築解体工事にて撤去する。
- ・コンクリート土間下内、ライニング内、壁内等の配管撤去は、建築解体に含む。
- ・屋外埋設配管等は堀上撤去とし、発生土による埋戻し復旧とする。

既 設 管 種

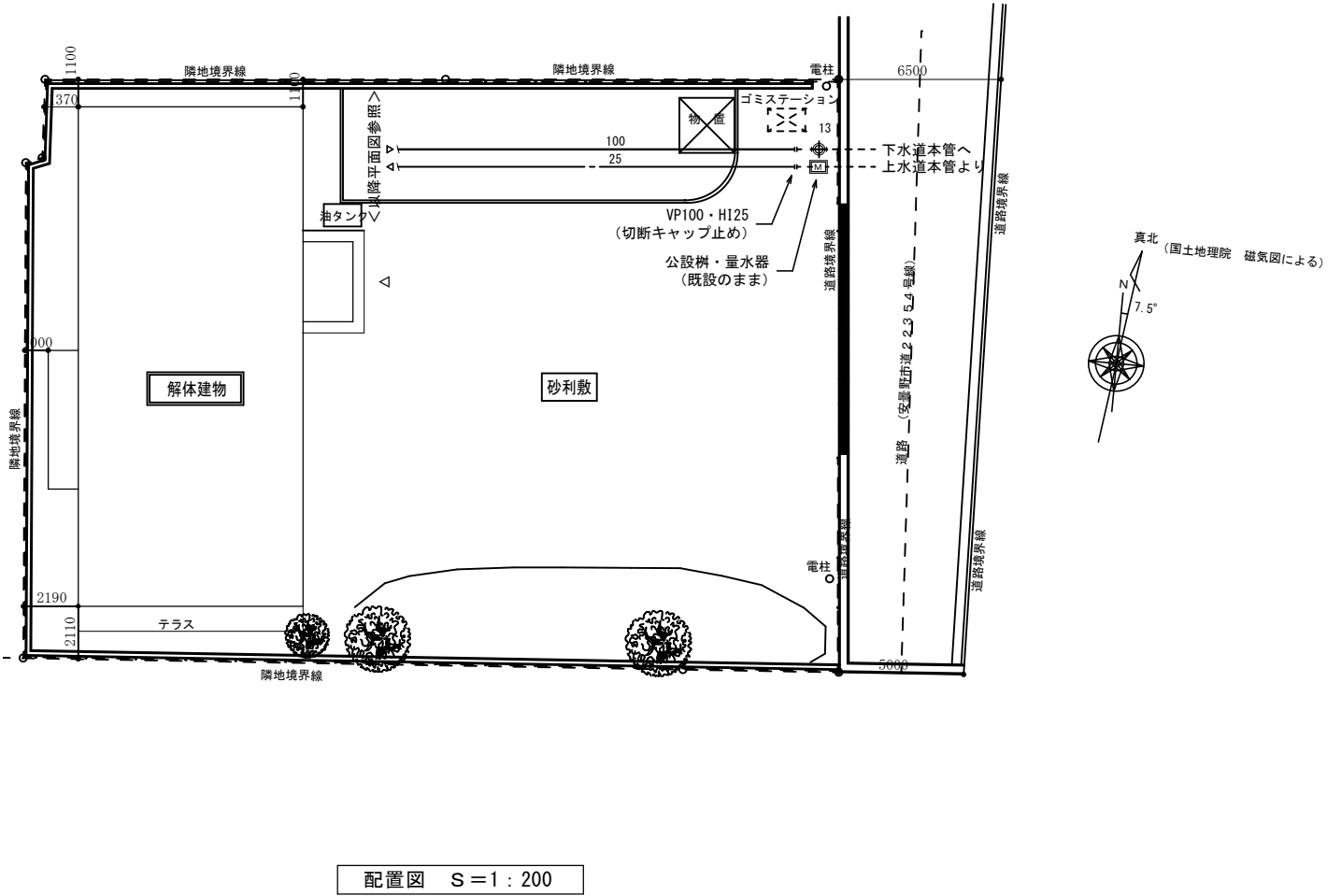
※点線部は建築解体に含む

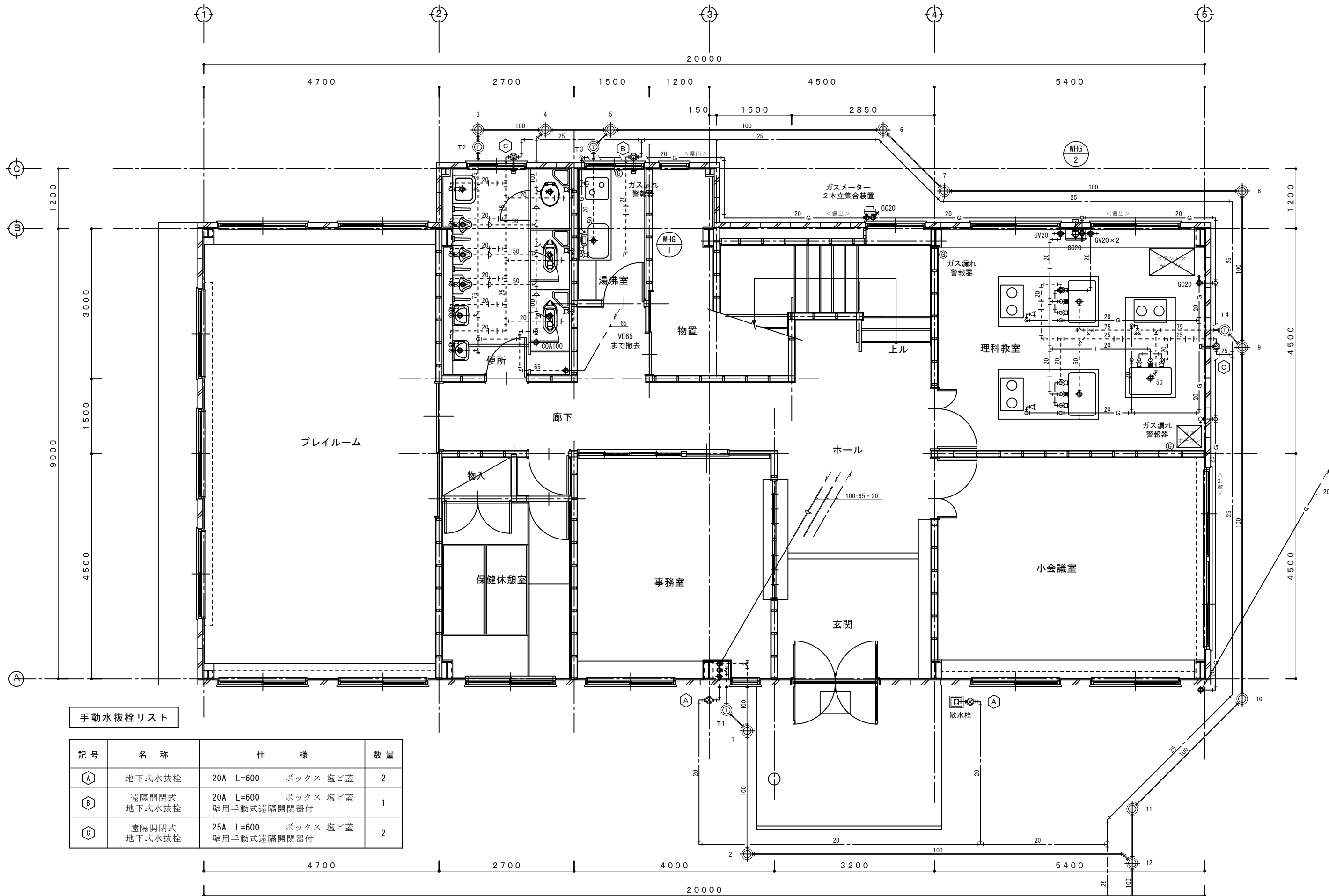
記 号	名 称	(適用)	仕 様
	給 水 管	屋 外 埋 設	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 JIS K 6742 HI
		水 抜 栓 以 降 土中及び土間	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 VD
		屋 内 一 般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 VB
	給 湯 管	送 り	給湯用塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 HVA
	屋 外 排 水 管	一 般 合 流	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
	屋 内 汚 水 管	屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
	屋 内 雑 排 水 管	屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
	通 気 管		硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
	ガ ス 管	屋 外 露 出 屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452

撤去樹リスト

※樹Hは概略とする。
※★印は、残置樹を示す。（既設のまま）

No.	名 称	記 号	サ イ ズ	樹 H	ふ た	備 考
T1	塩ビトラップ樹	MTP	75 - 200	930	樹脂ふた	目皿付トラップ
T2	〃	MTP	75 - 200	400	〃	〃
T3	〃	MTP	75 - 200	430	〃	〃
T4	〃	MTP	75 - 200	830	〃	〃
1	小口径塩ビ樹	45YS	100 - 150	1,010	〃	段差付
2	〃	90L	100 - 150	1,090	〃	
3	〃	90L	100 - 150	430	〃	
4	〃	45YS	100 - 150	470	〃	段差付
5	〃	45YS	100 - 150	530	〃	〃
6	〃	45L	100 - 150	690	〃	
7	〃	45L	100 - 150	800	〃	
8	〃	90L	100 - 150	810	〃	
9	〃	45YS	100 - 150	970	〃	段差付
10	〃	45L	100 - 150	1,230	〃	
11	〃	45L	100 - 150	1,300	〃	
12	〃	45YS	100 - 150	1,470	〃	段差付
★ 13	公設樹			1,600	铸铁蓋	〃



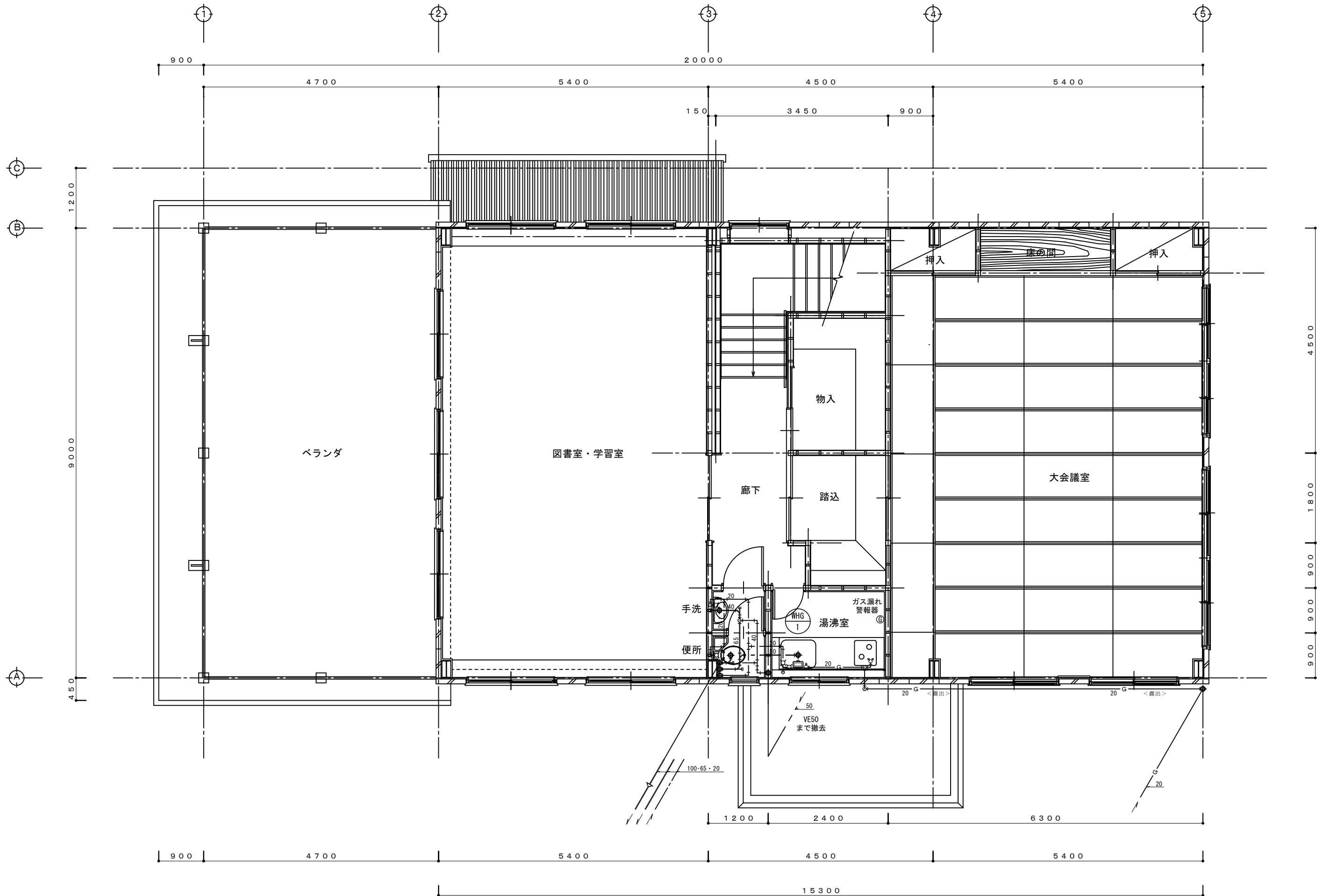


手動水抜栓リスト

記号	名称	仕様	数量
A	地下式水抜栓	20A L=600 ボックス 塩ビ蓋	2
B	遠隔開閉式 地下式水抜栓	20A L=600 ボックス 塩ビ蓋 壁用手動式遠隔開閉器付	1
C	遠隔開閉式 地下式水抜栓	25A L=600 ボックス 塩ビ蓋 壁用手動式遠隔開閉器付	2

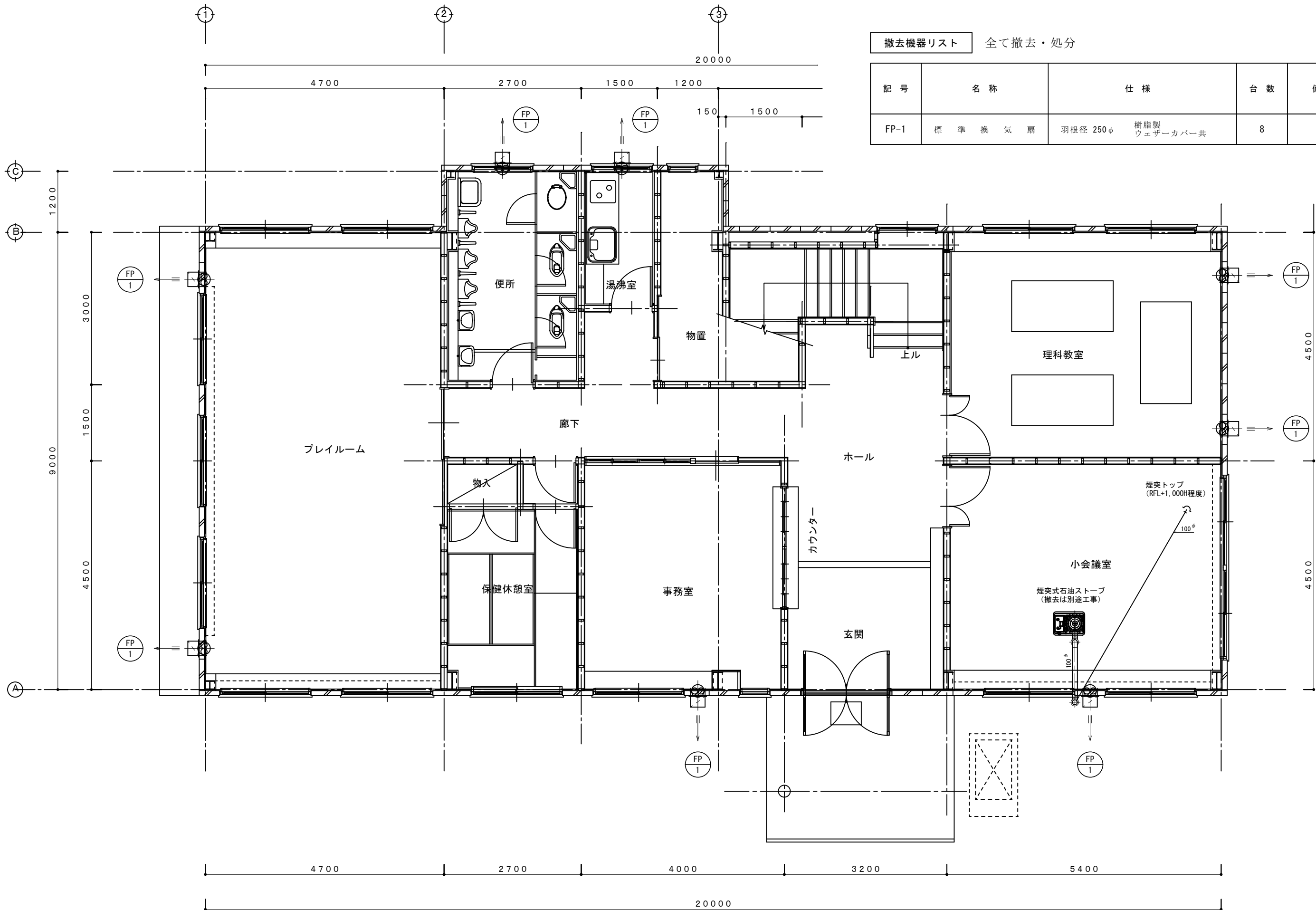
1階平面図 S=1:50

<以降配置図参照>



2階平面図 S=1:50

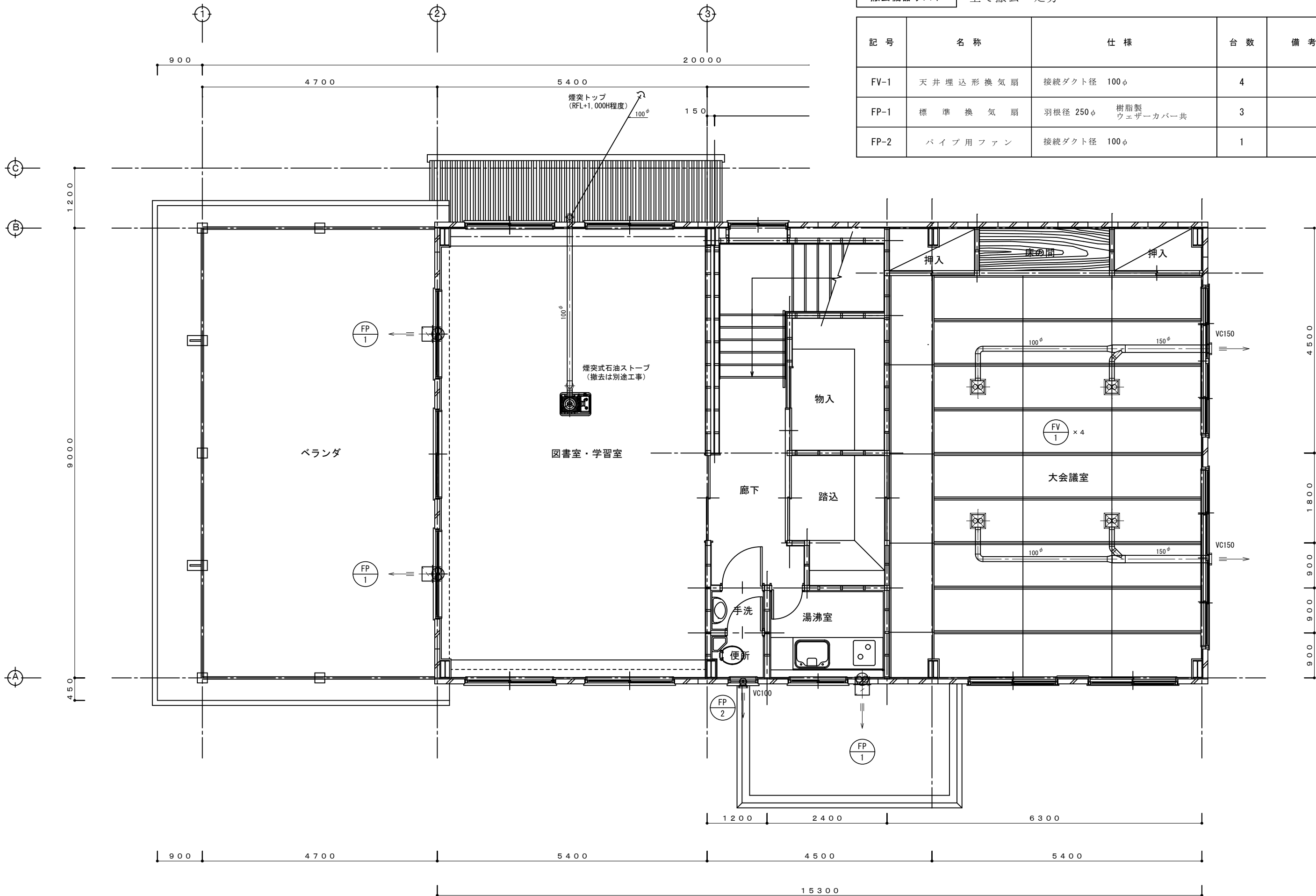
工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (穂高人権教育集会)	日付 2025.10	図面名 2階平面図 (給排水設備)	No. M-04
		縮尺 S=1:50 (A2)	



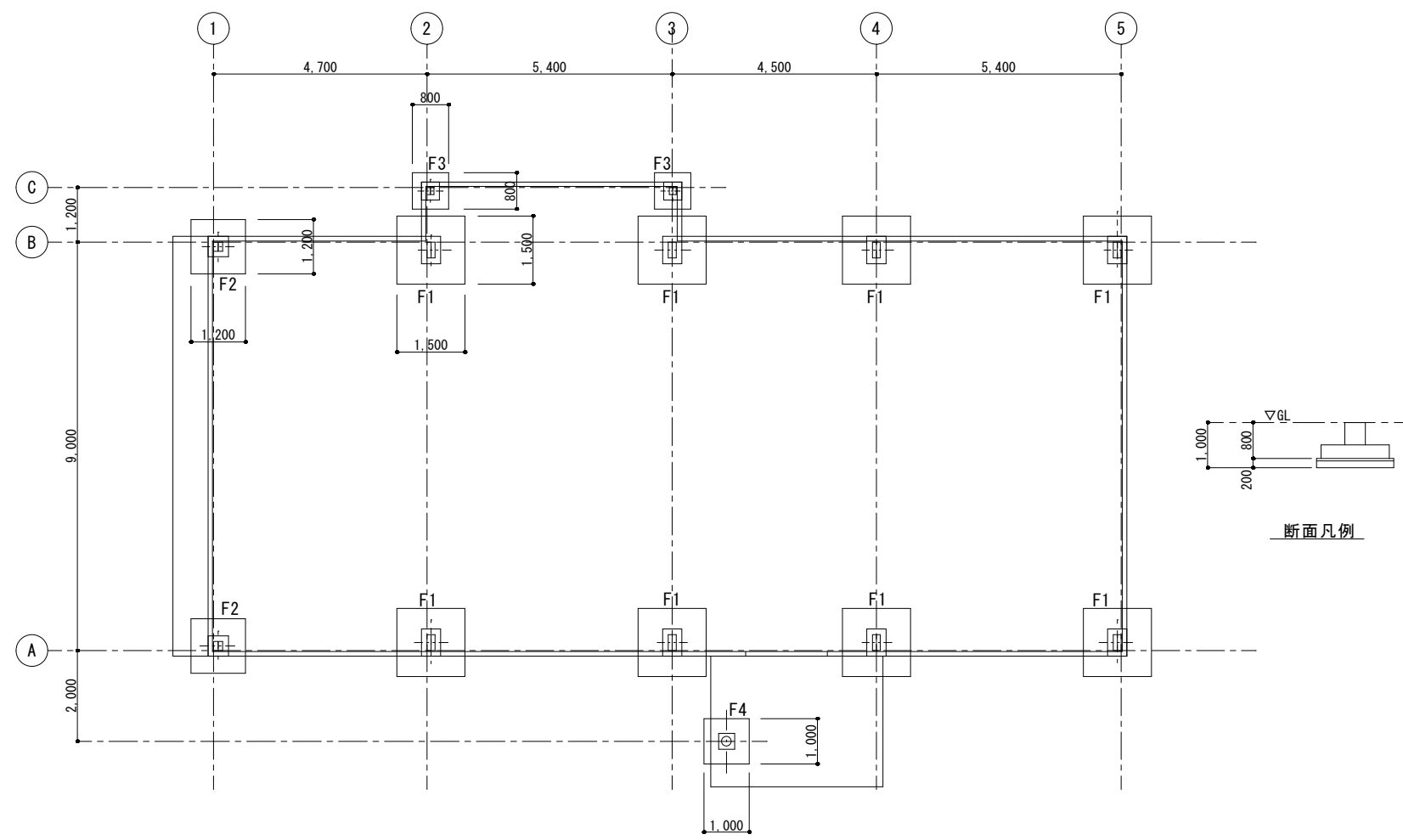
撤去機器リスト 全て撤去・処分

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
FP-1	標 準 換 気 扇	羽根径 250φ 樹脂製 ウェザーカバー共	8	

1 階平面図 S=1:50

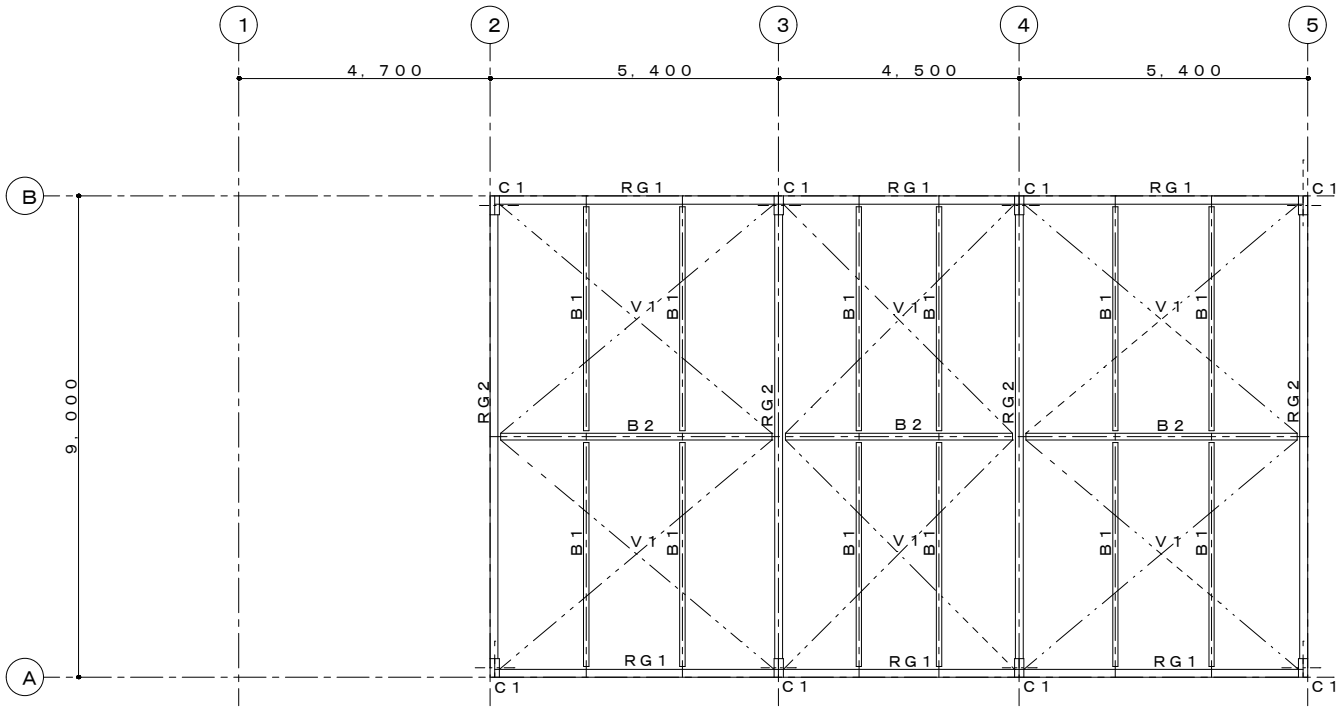


2階平面図 S=1:50

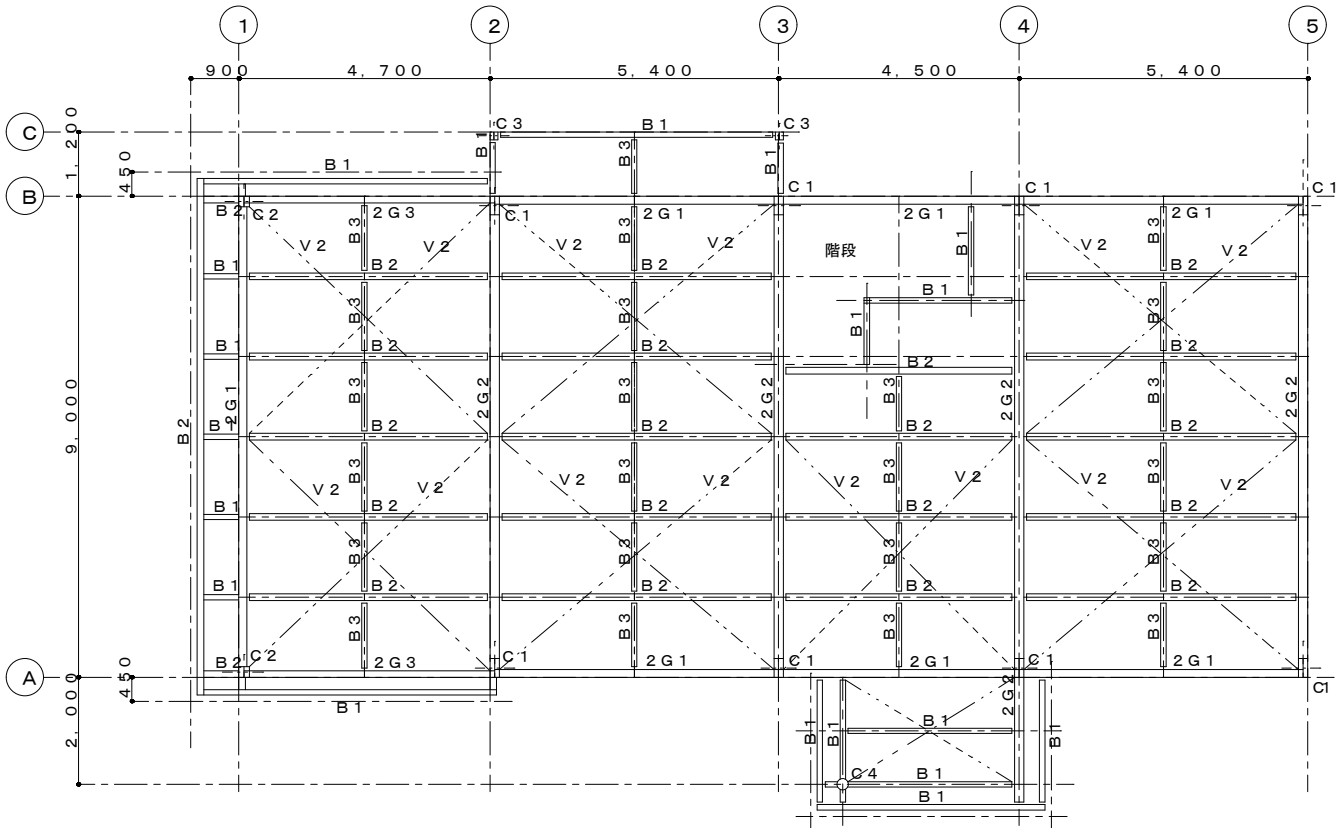


基礎伏図 S=1/100

参 考 図



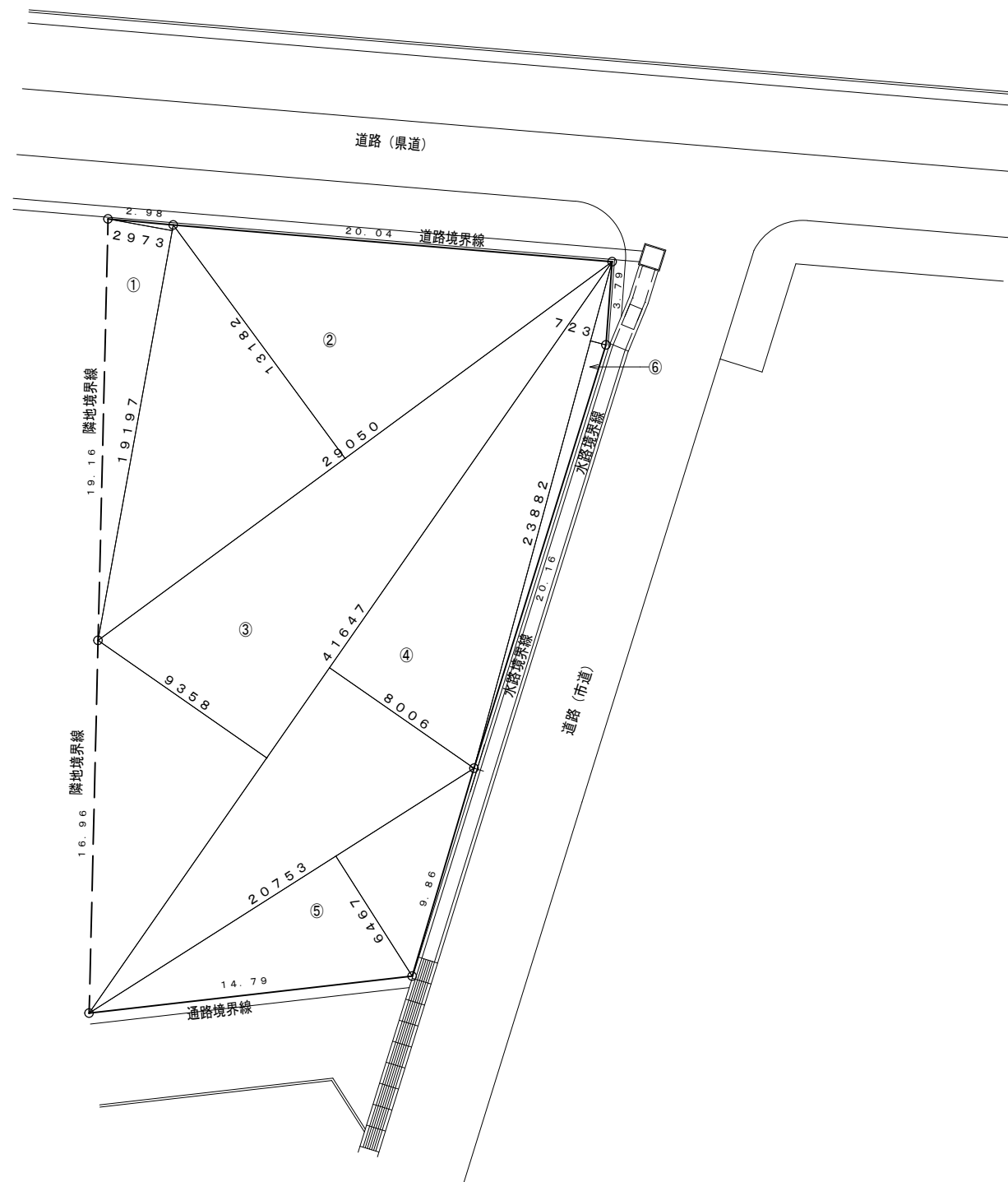
R 階伏図 S=1/100



2 階伏図 S=1/100

部材リスト	
2C1	H-350x175x7x11 + CPL-6
1C1	H-350x175x7x11 + CPL-6
1C2	H-200x200x8x12 + CPL-6
1C3	H-150x150x7x10
1C4	O-216.3φx5.8
RG1	H-300x150x6.5x9
RG2	H-300x150x6.5x9
2G1	H-300x150x6.5x9
2G2	H-350x175x7x11
2G3	H-250x125x6x9
B1	H-200x100. x5.5x8
B2	H-250x125x6x9
B3	2C-100x50x20x2.3
V1	RB-16φ (TB付)
V2	RB-19φ (TB付)

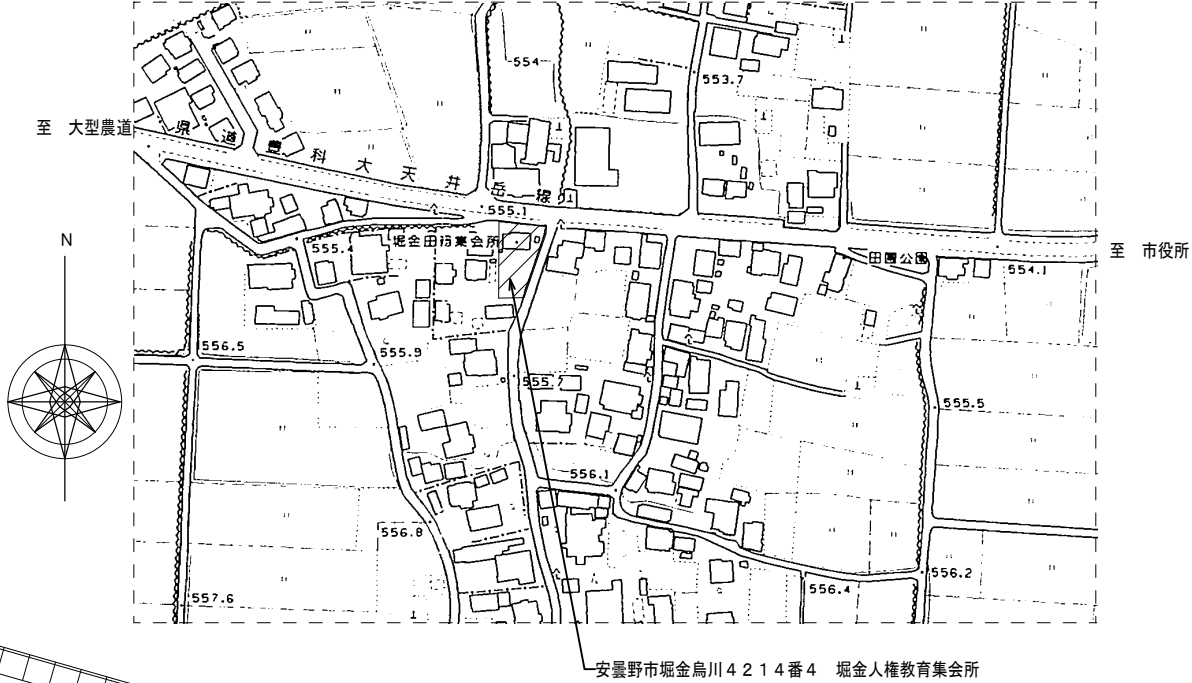
参 考 図



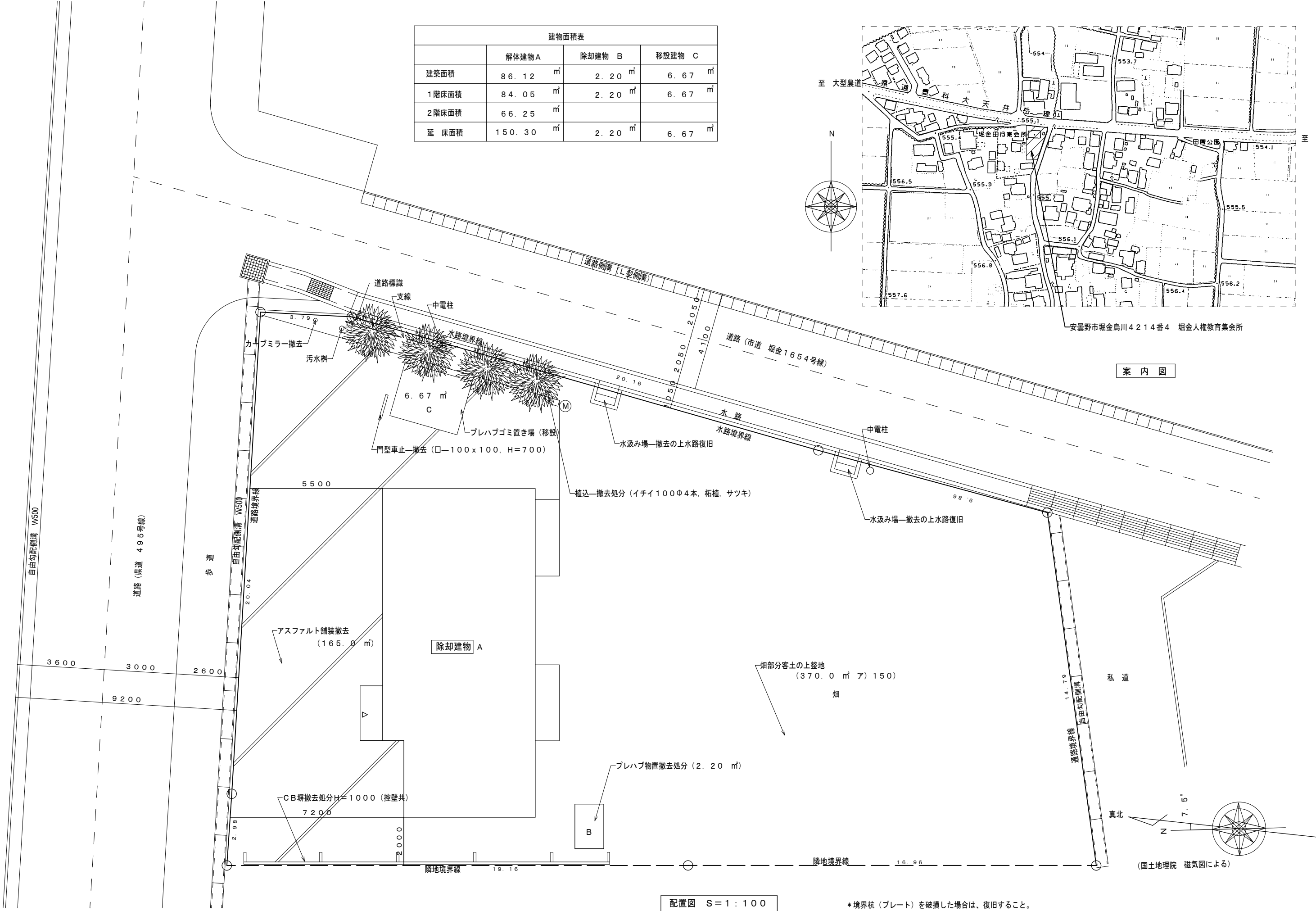
三斜文丈図 S=1:200

敷地面積求積				
①	19.197	x	2.973	= 57.072681
②	29.050	x	13.182	= 382.9371
③	41.647	x	9.358	= 389.732626
④	41.647	x	8.009	= 333.550823
⑤	20.753	x	6.467	= 134.209651
⑥	23.882	x	0.723	= 17.266686
Σ				= 1314.769567
$1314.769567 \times 1/2$				= 657.3847835
敷地面積 657.38 m ²				

建物面積表			
	解体建物 A	除却建物 B	移設建物 C
建築面積	86.12 m ²	2.20 m ²	6.67 m ²
1階床面積	84.05 m ²	2.20 m ²	6.67 m ²
2階床面積	66.25 m ²		
延床面積	150.30 m ²	2.20 m ²	6.67 m ²



案内図



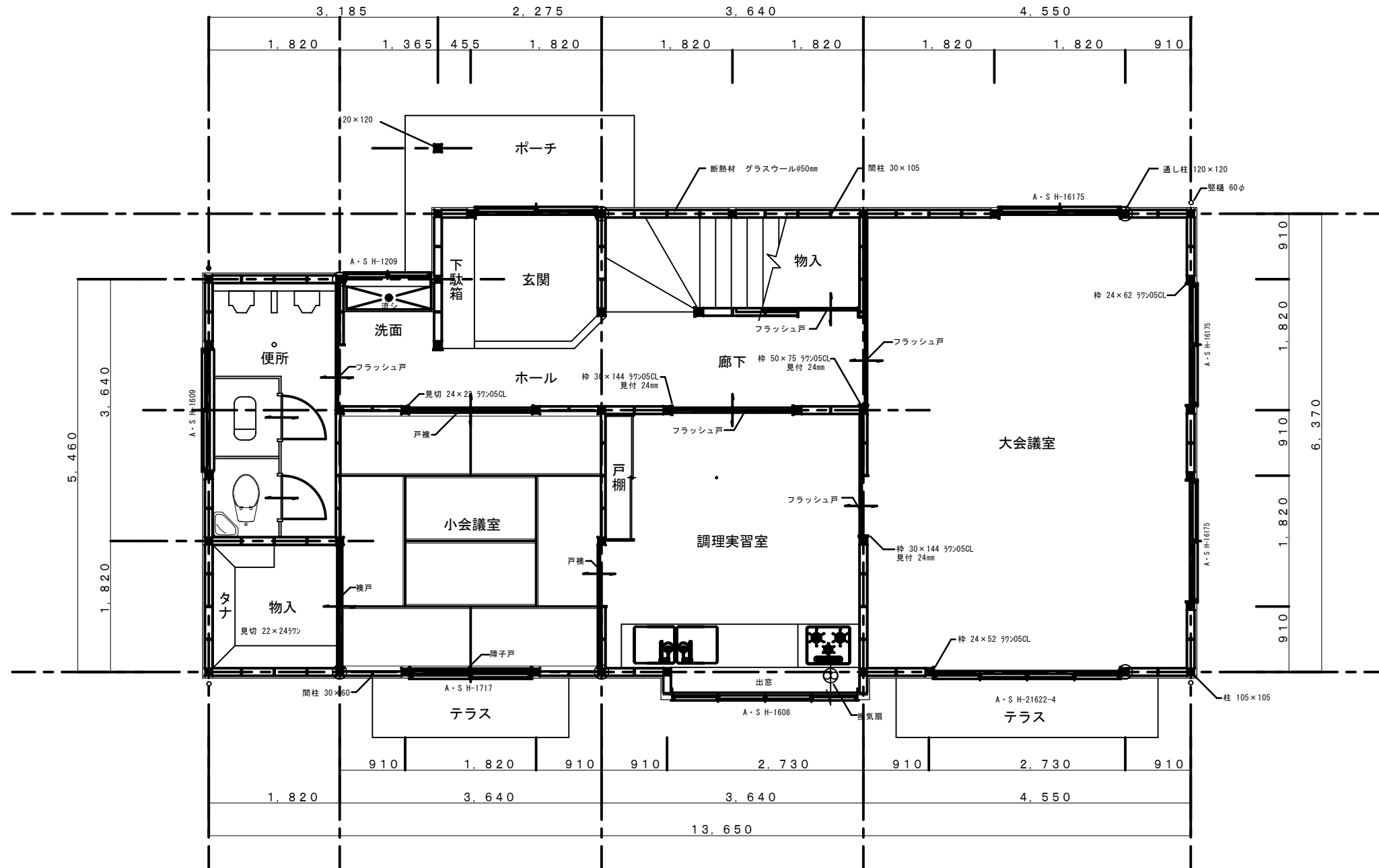
配置図 S=1:100

*境界杭(プレート)を破損した場合は、復旧すること。

外 部 仕 上 表		概 要
屋 根	和瓦葺き アスファルト ルーフィング 20kg/m ² 下屋部: 長尺カラー鉄板瓦棒葺 t =0. 4 庇: 長尺カラー鉄板葺き t =0. 4 軒樋: カラー鉄板 105Φ/2 壁樋: カラー鉄板 t=0. 4, 60Φ	施設名称: 堀金人権教育集会所
軒 天	珪酸カルシウム板 (ヒシラック) t =6 目透し VP 塗り 一部 有孔珪酸カルシウム板 (ヒシラック) t=6 VP アスベスト 含有 アスベスト 含有	敷地場所: 安曇野市堀金烏川4214-4
外 壁	アスファルトフェルト 17kg+メタルラス+モルタル金ゴテ 下地 アクリルリシン吹付 アスベスト 含有 アスベスト 含有	用途地域: 都市計画 内 未設定
基 礎	布基礎 見え掛り部分 モルタル金ゴテ 床下換気口 300x150 (鋳鉄製) アスベスト 含有	防火地域: 指定なし
土 間	ポーチ: コンクリート 下地 磁器質タイル貼 150角 テラス: コンクリート 下地金ゴテ押え	建物規模: 木造2階建 延べ面積 150. 30 m ²
建 具	住宅用アルミ サッシ (見込60, 70)	
そ の 他		

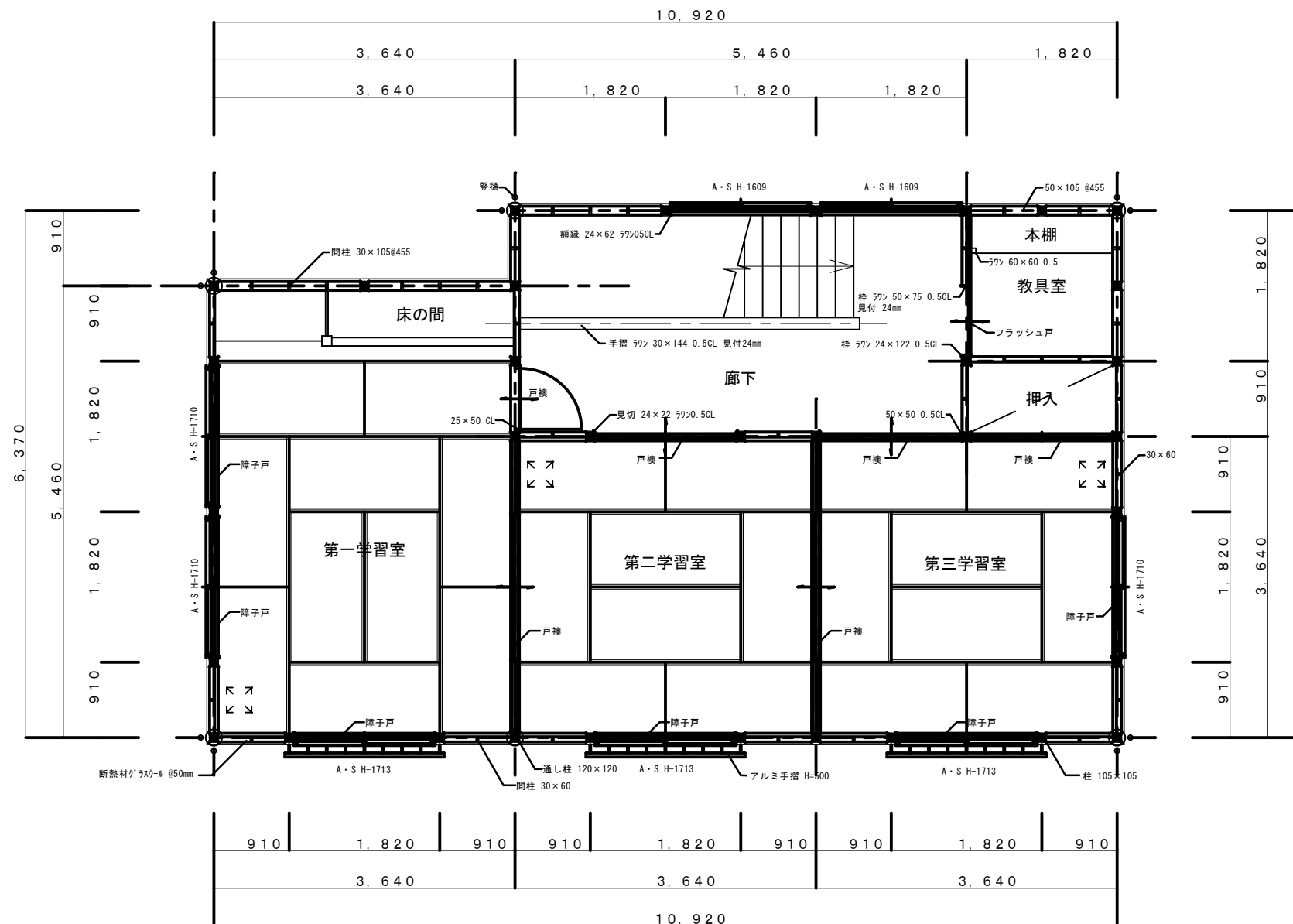
内 部 仕 上 表							
階	室 名	床	巾 木	内 壁	天 井	天 井 高	備 考
1階	玄 関	モルタル下地 磁器質タイル 150角	小口タイル	タモ ピーリング横張 CL	石膏ボード t=9. 0 下地 ビニールクロス貼り	2800	下駄箱 框 (堅木)
	ホール・廊下	化粧フローア合板 CL	ラワン H=100 OSC L	石膏ボード 12. 0 下地 ビニールクロス貼り	△	2500	造り付ステンレス洗面流し台
	小 会 議 室	ラワン合板 t=12 下地 ヘリ付きタタミ敷	タタミ寄	ラスボード t=7 下地 繊維壁	杉桤合板底目地	△	換気口
	同 物入	化粧フローア合板 CL	ラワン H=75 OSC L	石膏ボード 12. 0 下地 EP	石膏ボード t=9. 0 目透し張 EP	2400	造り付 棚 (3段) 点検口 (450x450)
	調 理 実 習 室	△	ラワン H=100 OSC L	石膏ボード 12. 0 下地 ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード 9. 0 (ジブトーン)	2500	戸棚 流し台 (L=1800) 調理台 (L=900) 瞬間湯沸し器 ガスキャビネット (L=600) 吊戸棚 (L=1200)
	大 会 議 室	△	△	△	石膏ボード t=9. 0 下地 ロックウール吸音板 t=12 貼り アスベスト 含有	2600	移動教壇 (880×880×10ヶ) カーテンボックス カーテン 暗幕
	便 所	モルタル下地 モザイクタイル貼り	腰: 磁器質タイル 75角 H=800	ラスモルタル金ゴテ アスベスト 含有 VP	石膏ボード t=9. 0 目透し張 EP	2400	トイレブース
	階段下物入	コンパネ t=12		ラワン合板 4mm EP	ラワン合板 4mm		
2階	階 段	踏板: ラワン t=30 CL 蹴込: ピーリング合板 CL	ササラ: ラワン t=30 CL	石膏ボード 12. 0 下地 ビニールクロス貼り	石膏ボード t=9. 0 下地 ビニールクロス貼り		
	廊 下	化粧フローア合板 CL	ラワン H=100 OSC L	△	△	2500	
	第 一 学 習 室	ラワン合板 t=12 下地 ヘリ付きタタミ敷	タタミ寄	ラスボード t=7 下地 繊維壁 長押付 板欄間	杉桤合板底目地	△	
	床 の 間	ヤニ松合板 CL	雑巾摺 CL	△	△	△	床柱 (磨き丸太), 床框, 落掛 (桧), 棚板
	第 二 学 習 室	ラワン合板 t=12 下地 ヘリ付きタタミ敷	タタミ寄	△ 長押付 板欄間	△	△	
	第 三 学 習 室	△	△	△ 長押付 障子欄間	△	△	
	押 入	ラワン合板 t=5. 5	雑巾摺	ラワン合板 4mm EP	ラワン合板 4mm	2400	中段 天袋
	教 具 室	化粧フローア合板 CL	ラワン H=75 OSC L	石膏ボード 12. 0 張	石膏ボード 9. 0 張	△	棚 3段

特 記 事 項	
外壁部分は断熱材 (グラスウール ア) 50) 入り	
アスベスト含有建材は、いずれもレベル3である。	



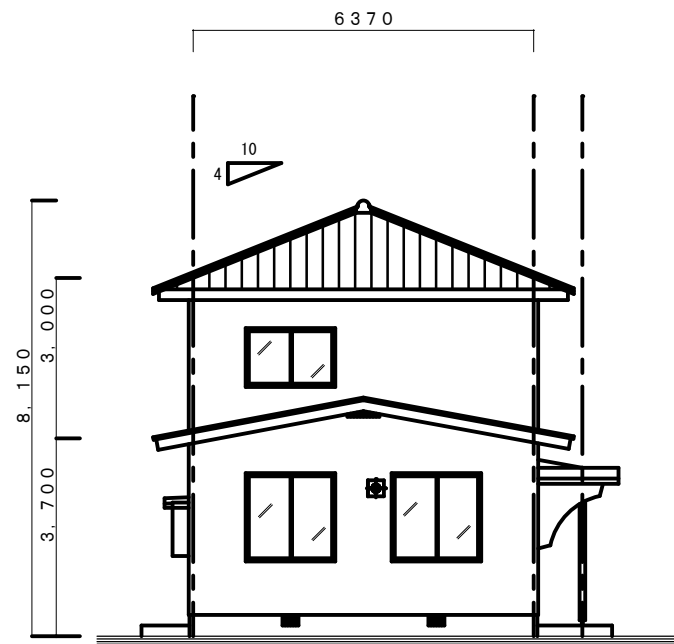
1階平面図 S=1:50

	13.65	x	6.37	=	86.9505	
	3.185	x	0.91	=	2.89835	
	2.275	x	0.91	=	2.07025	
建築面積の計算	86.9505+2.07025-2.89835	=	86.1224	≒	86.12	m ²
床面積の計算	86.9505-2.89835	=	84.05215	≒	84.05	m ²

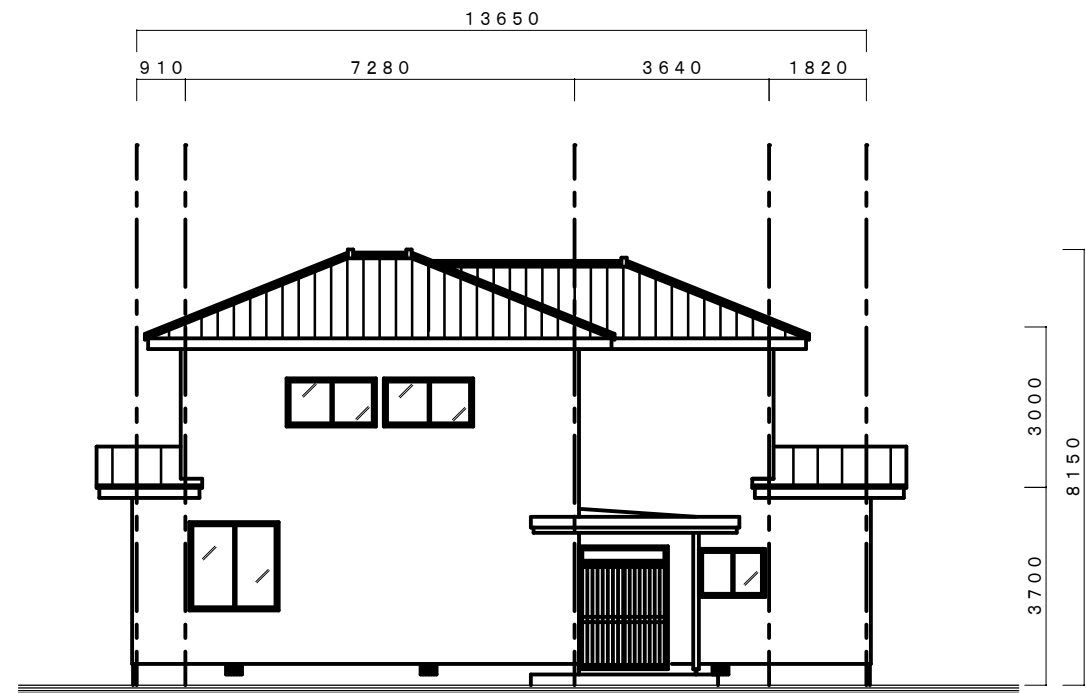


2階平面図 S=1:50

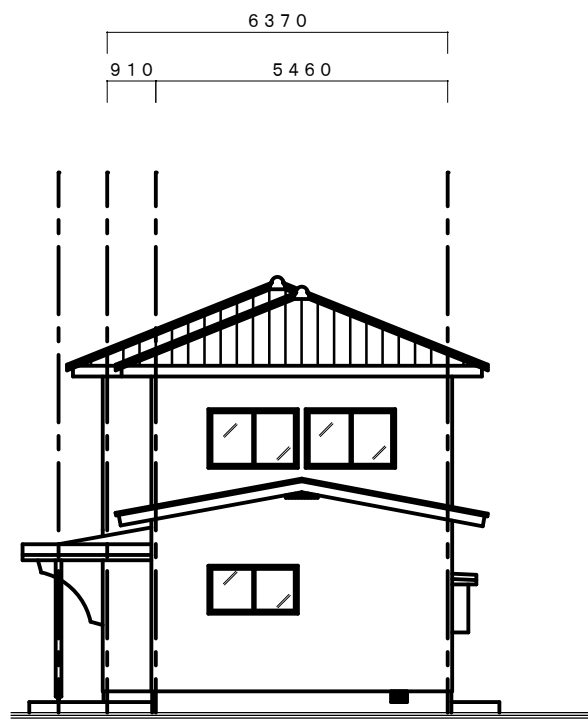
	10.92	x	6.37	=	69.5624
	3.64	x	0.91	=	3.3124
2階床面積の計算	69.5624	-	3.3124	=	66.25



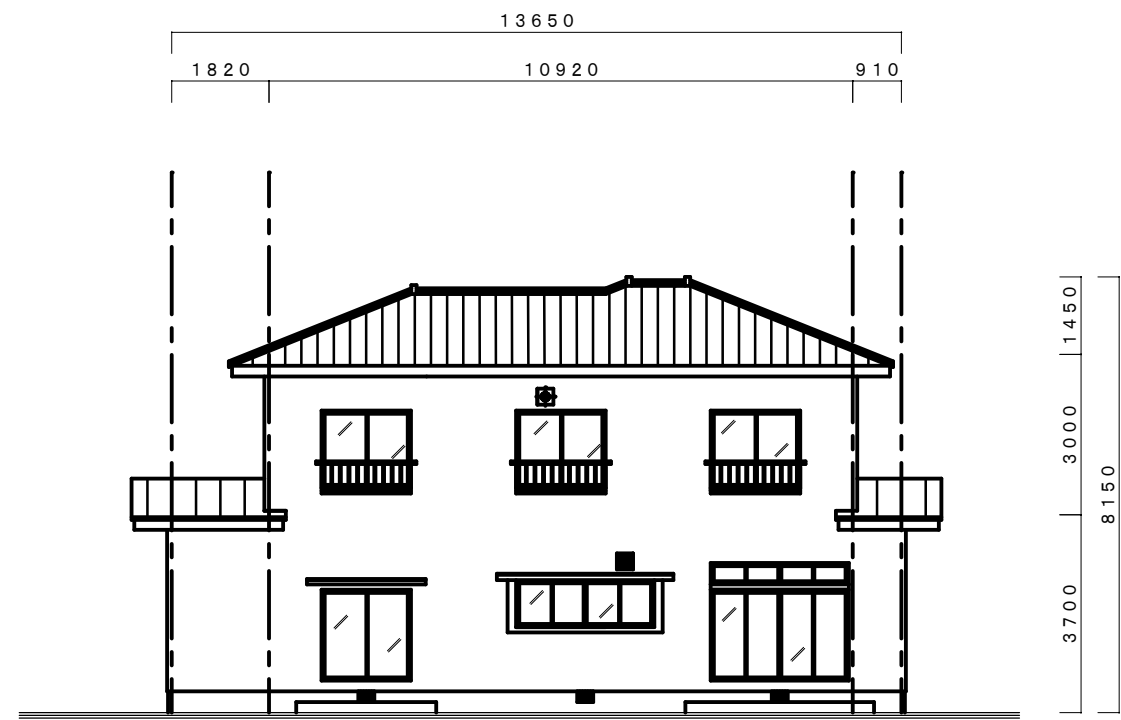
東側 立面図



北側 立面図



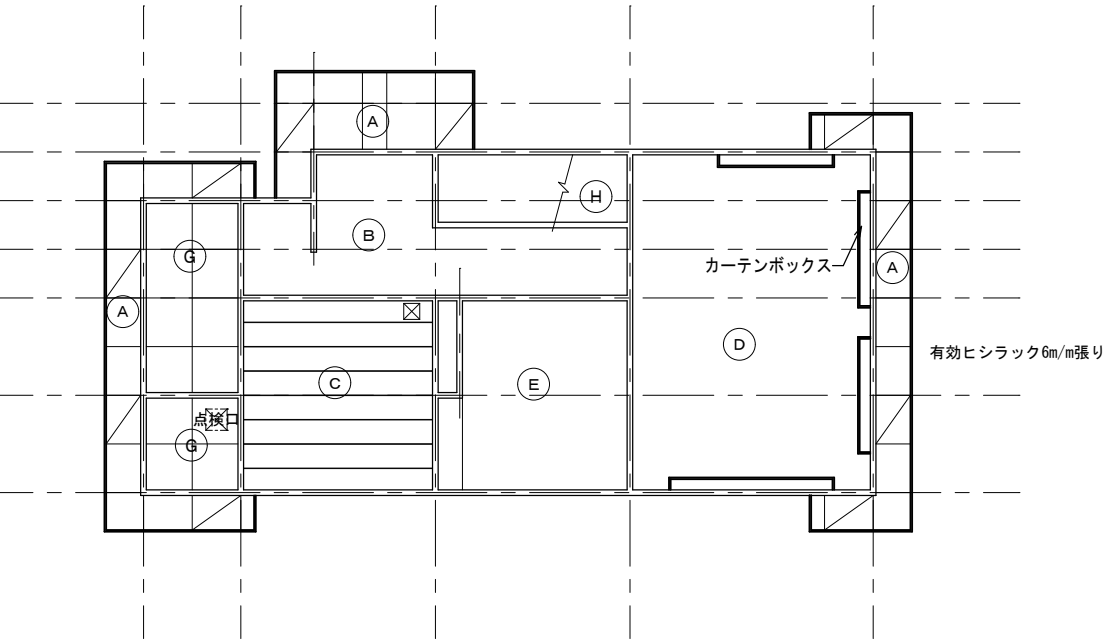
西側 立面図



南側 立面図

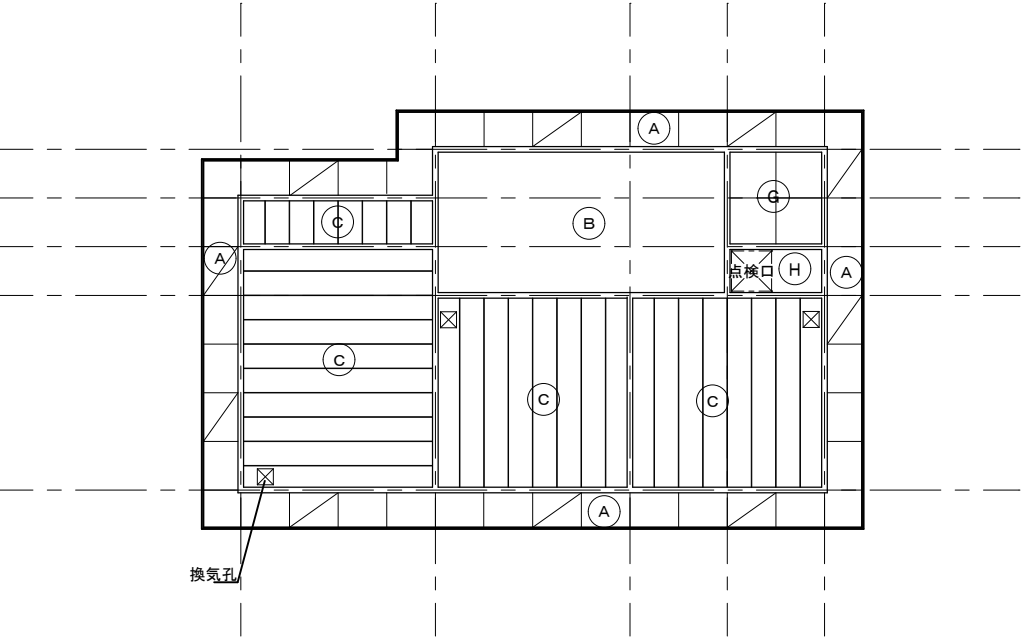
立面図 S=1:100

	工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (堀金人権教育集会所)	日付	図面名 立面図	No. A-07
			縮尺 S=1:100	

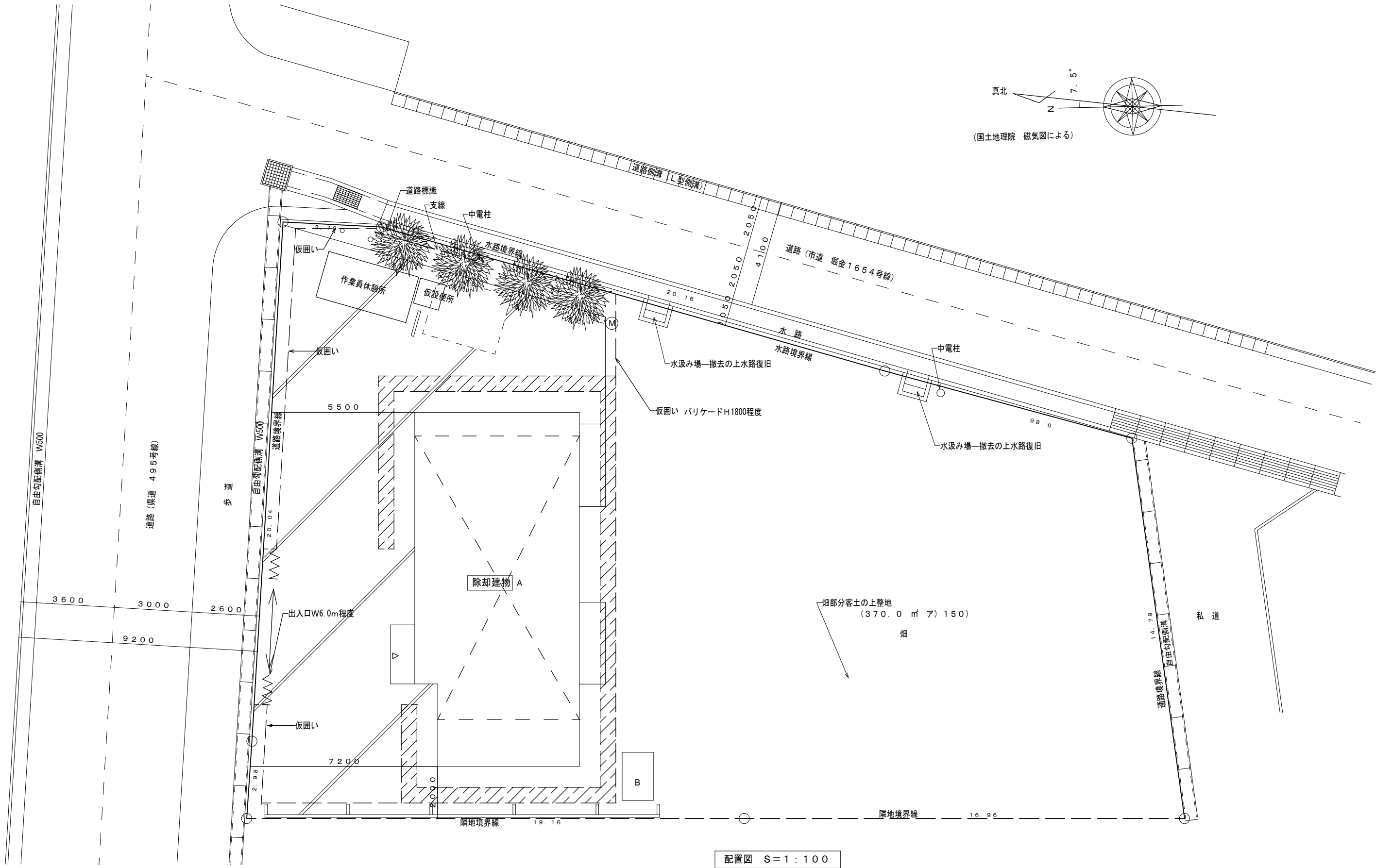


1階 天井伏図 1：100

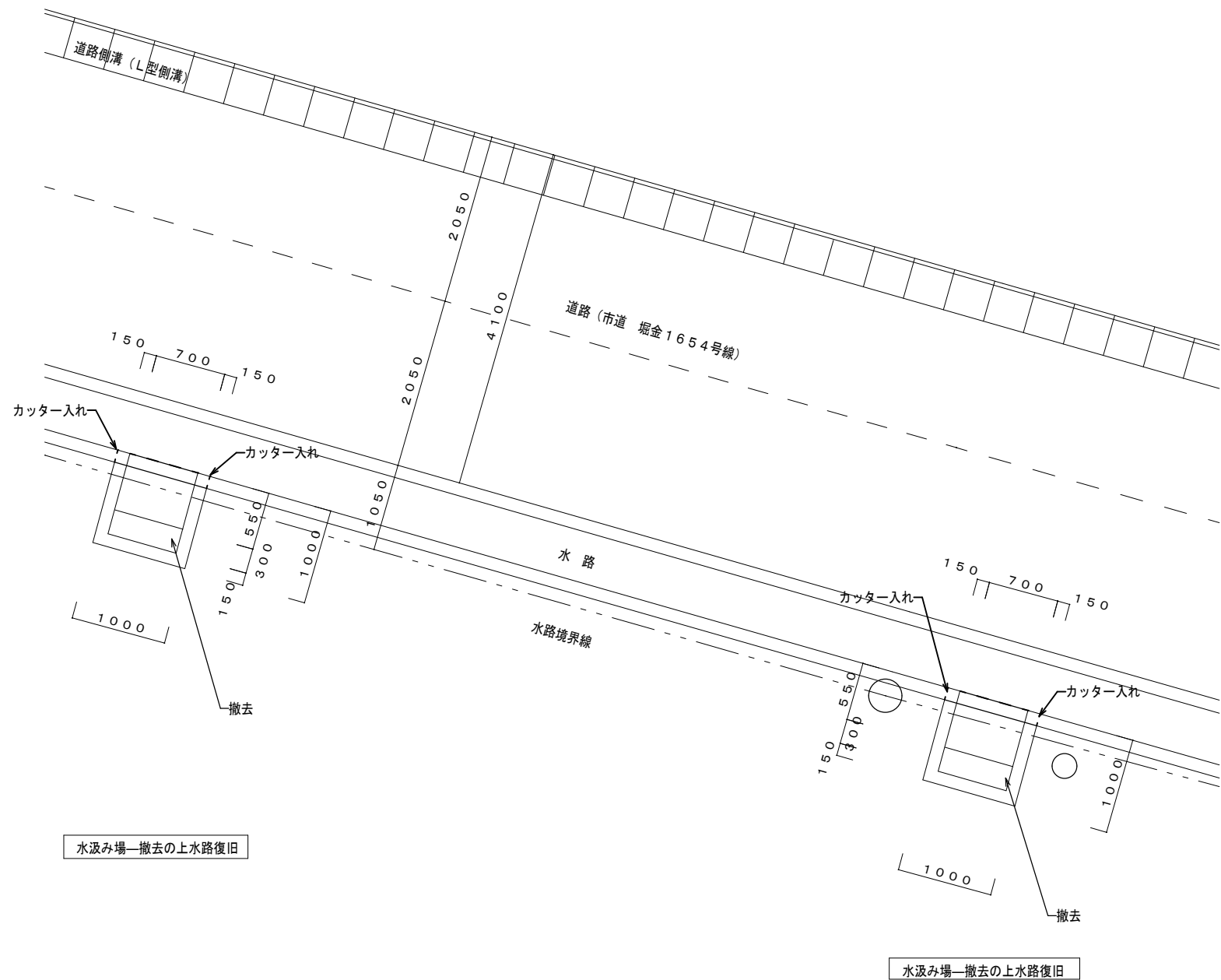
	天 井 伏 凡 例	
記 号	仕 上	
Ⓐ	珪酸カルシウム板（ヒシラック） t=6 目透し張り V.P	アスベスト含有
Ⓑ	石膏プasterボードア）9 ビニル加2張り	
Ⓒ	杉壺合板底目地	
Ⓓ	石膏ボード ア）9+ロックウール吸音板（ミネラートン） 12m/m	アスベスト含有
Ⓔ	ジブトーンア）9	
Ⓖ	石膏プasterボードア）9 目透張 E.P	
Ⓕ	ラワン合板 t=4 表し	



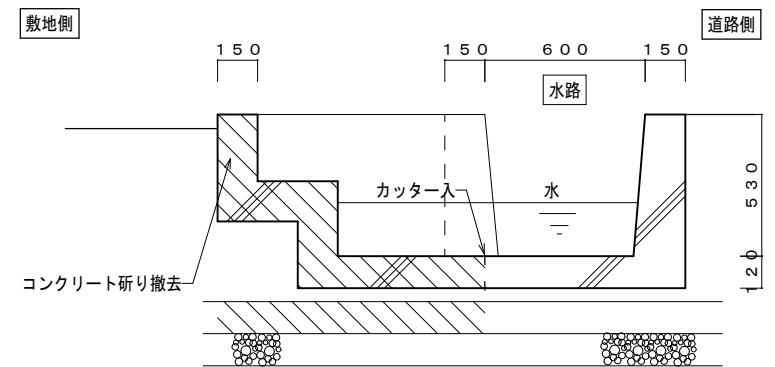
2階 天井伏図 1：100



工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (堀金人権教育集会所)	日付	図面名 配置図	案内図	建物面積表	No. A-10
		縮尺 1:100			

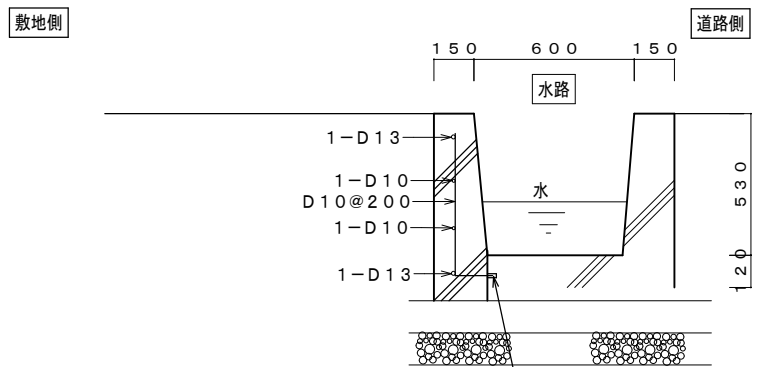
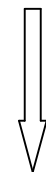


現況平面図 1:50



現状水汲み場

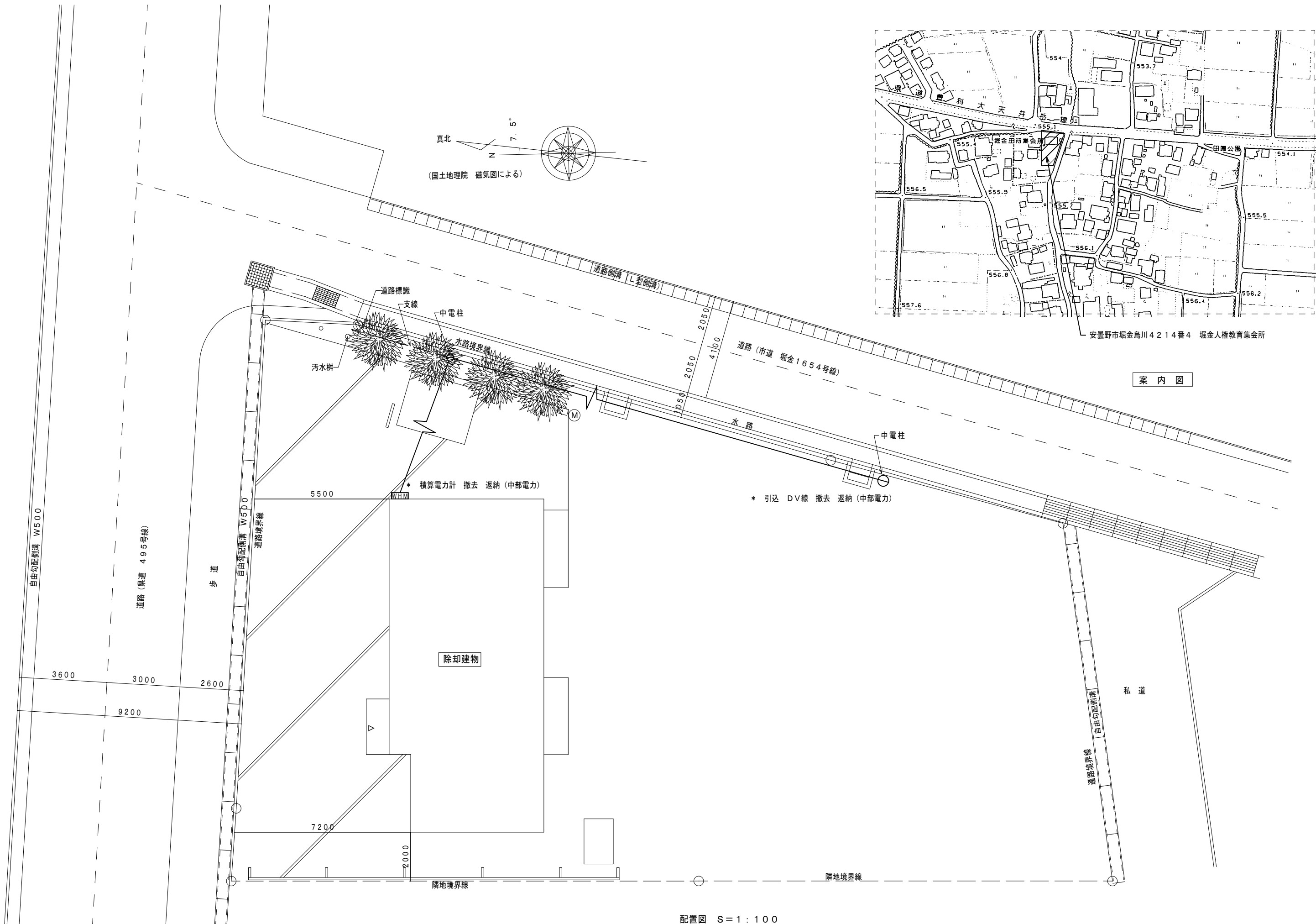
現況



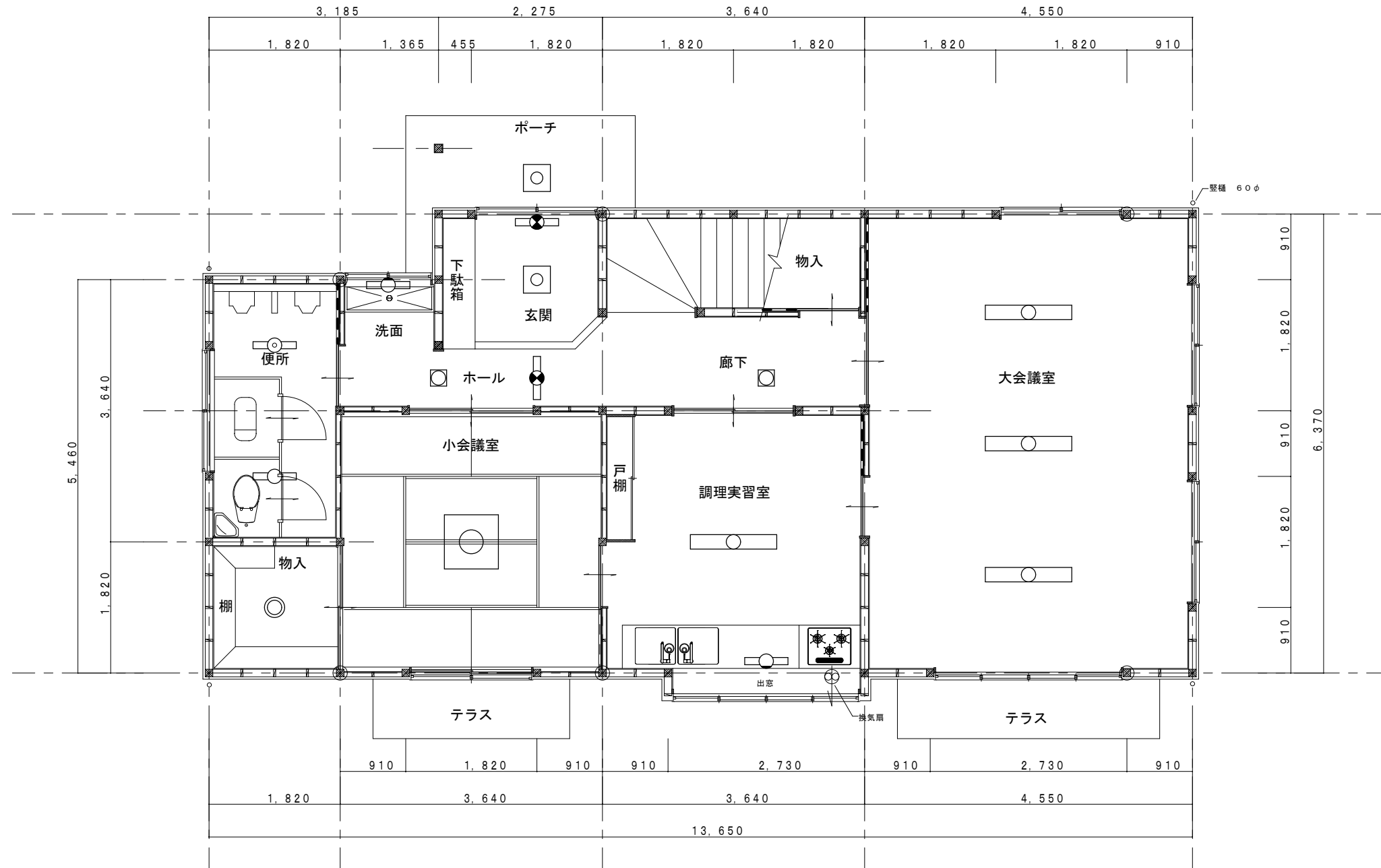
水路復旧

断面詳細図 S=1:20

	工事名称	令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (堀金人権教育集会所)	日付	図面名	外構(水路復旧)詳細図	No.
				縮尺	1:50, 1:20	

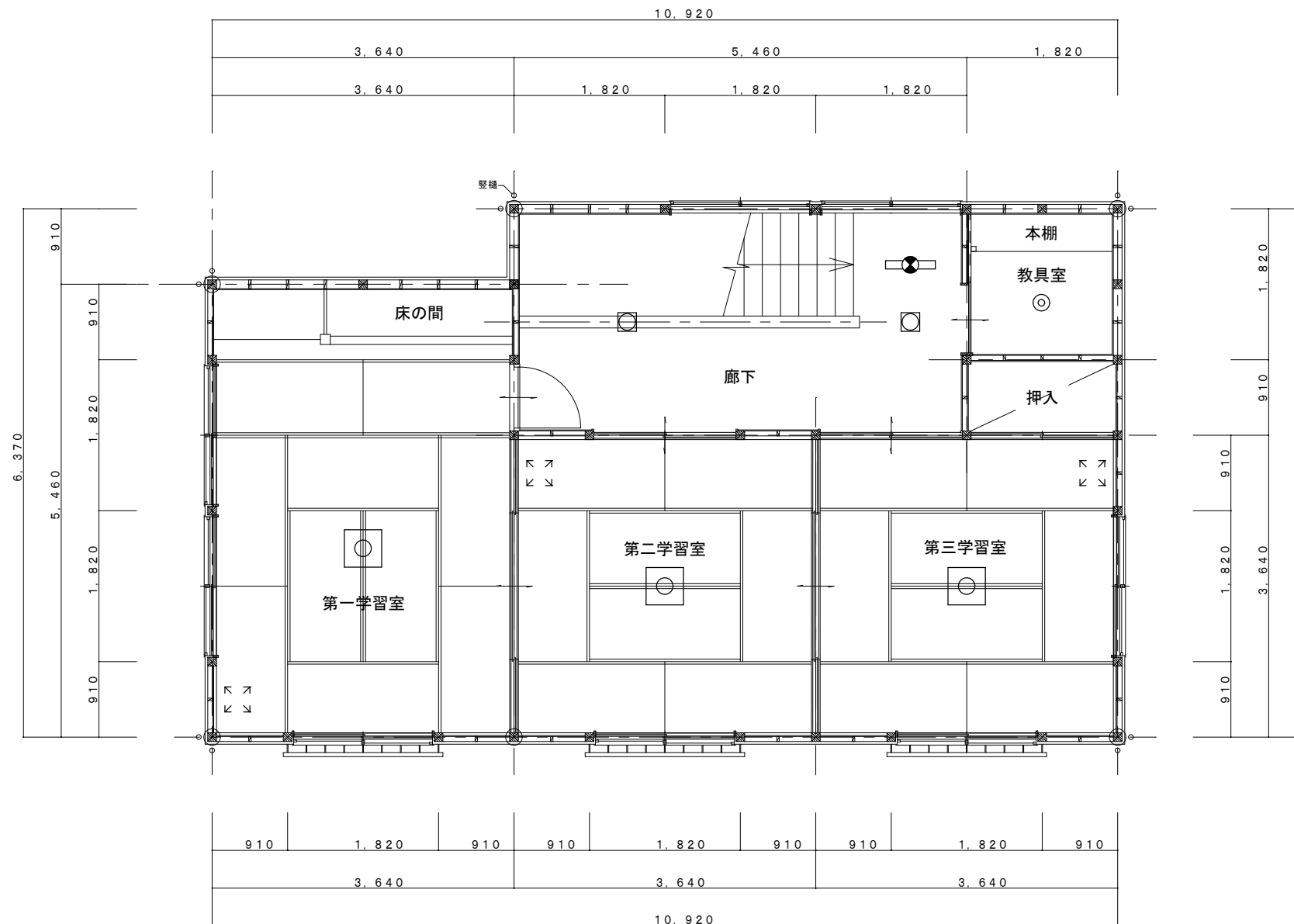


工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (堀金人権教育集会所)	日付	図面名 配置図	No. E-01
		案内図 引込線撤去図 縮尺 1:100	



1階平面図 S=1/50

	工事名称 令和8年度 穂高・堀金人権教育集会所解体工事 (堀金人権教育集会所)	日付	図面名 1階平面図 照明器具 撤去 (蛍光灯・球 分別 廃棄)	No. E-02
			縮尺 1:50	



2階平面図 S=1/50

撤去機器リスト

全て撤去、処分

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
WHG-1	ガ ス 瞬 間 湯 沸 器 【1階調理実習室】	屋内壁掛形 給湯能力 5号	1	

撤去器具リスト

全て撤去、処分

器 具 名	付 属 品 そ の 他	数 量					合 計
		1 階			屋 外		
		便 所	洗面	調理 実習室	一般		
和風大便器	隅付ロータンク・紙巻器共	1					1
洋風便器	隅付ロータンク・紙巻器共	1					1
床置ストール小便器	フラッシュ弁	2					2
単水栓13A	分岐水栓含む		2	3			5
散水栓13A	鋳鉄製ボックス共				1		1
ガス栓	1口型 or 2口型			2			2
ガス漏れ警報器	LPG用			1			1

※特記事項（撤去工事）

- ・図示部分の機器・器具・配管・ダクト・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）

・既設のまま残置する配管等（点線部分・特記部分）は撤去不要。

・床下内、ライニング内、壁内等の配管撤去は、建築解体に含む。

・屋外埋設配管等は堀上撤去とし、発生土による埋戻し復旧とする。

既 設 管 種

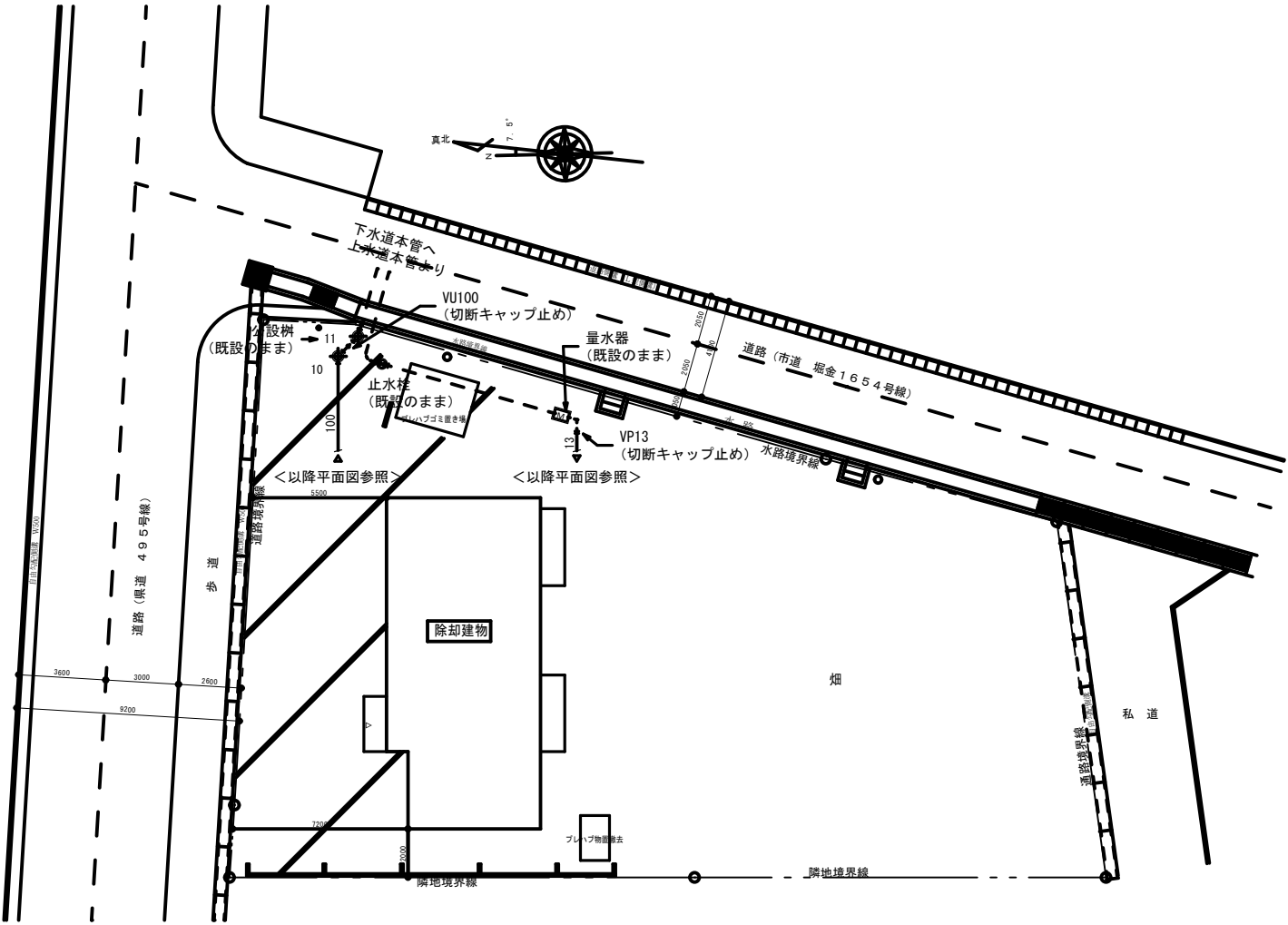
※点線部は建築解体に含む

記 号	名 称	（適用）	仕 様
	給 水 管	屋 外 埋 設	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
		水 抜 栓 以 降 土 中 及 び 土 間	鋼管 GP
		屋 内 一 般	鋼管 GP
	屋 外 排 水 管	一 般 合 流	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VU
	屋 内 汚 水 管	屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VU
	屋内雑排水管	屋 内 一 般	硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VU
	ガ ス 管	屋 外 露 出 屋 内 一 般	配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452

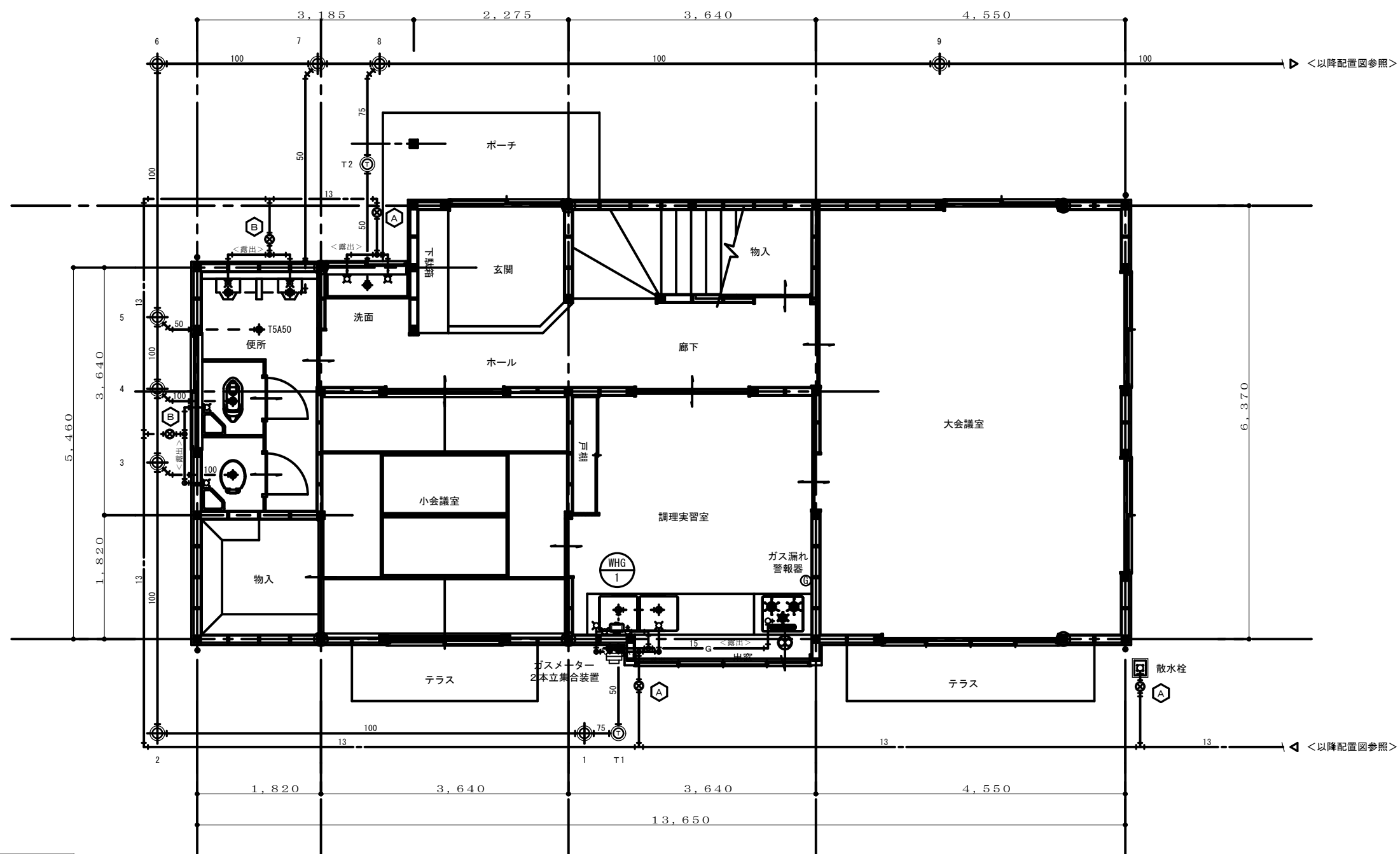
撤去樹リスト

※樹Hは概略とする。
※★印は、残置樹を示す。（既設のまま）

No.	名 称	記 号	サ イ ズ	樹 H	ふ た	備 考
T1	塩ビトラップ樹	MTP	75 - 200	400	樹脂ふた	目皿付トラップ
T2	〃	MTP	75 - 200	650	〃	〃
1	小口径塩ビ樹	ST	100 - 150	490	〃	
2	〃	90L	100 - 150	600	〃	
3	〃	45YS	100 - 150	760	〃	段差付
4	〃	45YS	100 - 150	800	〃	〃
5	〃	45YS	100 - 150	830	〃	〃
6	〃	90L	100 - 150	910	〃	
7	〃	45YS	100 - 150	1,000	〃	段差付
8	〃	45YS	100 - 150	1,020	〃	〃
9	〃	ST	100 - 150	1,160	〃	
10	〃	45L	100 - 150	1,300	〃	
★ 11	公設樹			1,230	〃	

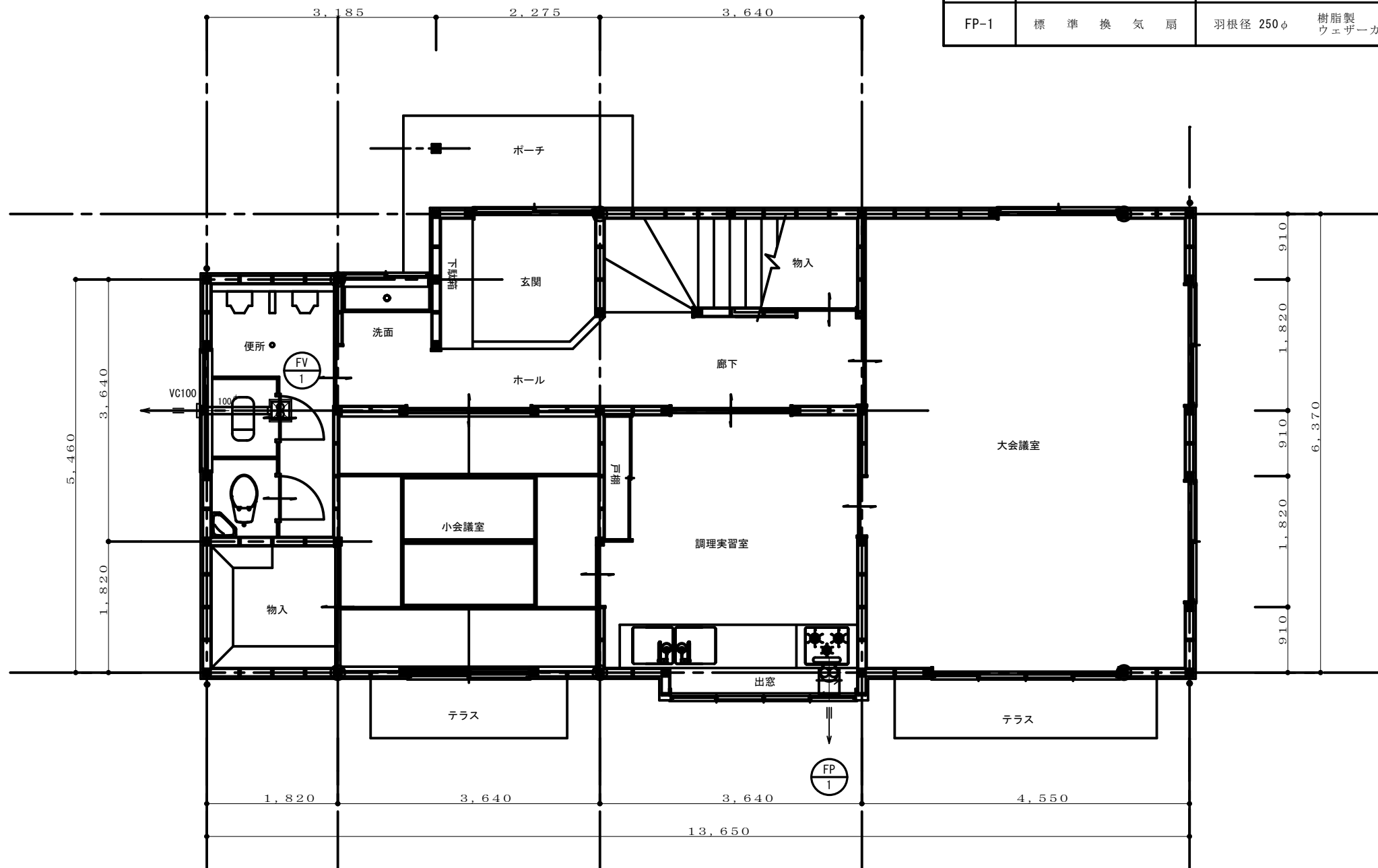
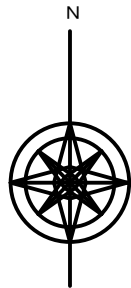


配置図 S=1:200



記 号	名 称	仕 様		数 量
	地下式水抜栓	15A L=600	ボックス 铸铁盖	3
	地下式水抜栓	15A L=600	ボックス 塩ビ盖	2

1 階平面図 S = 1 : 50



撤去機器リスト 全て撤去・処分

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
FV-1	天 井 埋 込 形 換 気 扇	接続ダクト径 100φ	1	
FP-1	標 準 換 気 扇	羽根径 250φ 樹脂製 ウェザーカバー共	1	

1 階平面図 S=1:50